

平成28年度
「スポーツクラブ21ひょうご」
芦屋市推進委員会

資 料

日時：平成28年8月31日（水）15：00～
会場：芦屋市立体育館・青少年センター3階
第1研修室

平成27年度 決算書・事業報告書

1. 平成27年度決算書（9クラブ分）
2. 平成27年度事業報告書（9クラブ分）

収支決算書

1 収入の部 クラブ名 (三条スポーツクラブ21)

科 目	決 算 額	摘 要
基金	(2,203,791 円)	前年度より繰越し
	2,203,791 円	
自主財源	(515,269)	前年度より繰越し
	515,269	
	(50,000)	
	48,900	
	(1,000)	
雑収入	1,500	秋のお楽しみ会、輪投げ参加費・貸出料
	(500)	
利息	477	基金通帳利息389円、自主財源利息88円
	()	
計	(2,770,560)	
	2,769,937	

2 支出の部

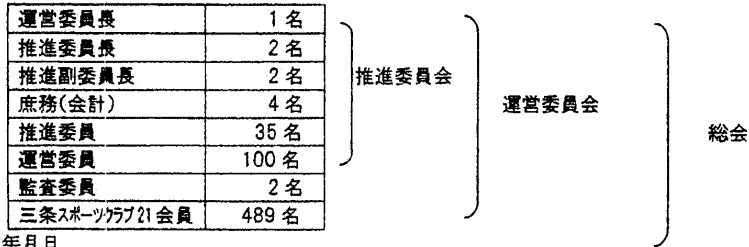
科 目	決 算 額	摘 要
運営拠点整備費	(150,000 円)	コンテナ代
	31,212 円	
スポーツ用品購入費	(200,000)	石灰代・ライン引き
	55,255	
基金	(500,000)	ラジオ体操・夏の夜の集い・運動会他
	170,395	
管理費	(50,000)	クラブハウス電気代
	7,097	
事務・消耗品費	(100,000)	用紙・インク代他
	19,374	
次年度に繰越し	(1,203,791)	
	1,920,458	
運営費	(40,000)	総会お菓子代他
	10,404	
自主財源	(10,000)	一日保険料 (運動会、会下山ウォーキング)
	14,116	
分担金	(1,000)	連絡協議会27年度会費
	1,000	
次年度に繰越し	(515,769)	
	540,626	
計	(2,770,560)	
	2,769,937	

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。
 ・申請内容を上段に () 書き、実績を下段に記入する。

三条
 SC21

事業実績書

- 1 指定小学校区 芦屋市三条コミュニティスクール地域（旧芦屋市立三条小学校区）約3,700世帯
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所 芦屋市立山手中学校第2グラウンド内(旧三条小学校敷地)
- 3 スポーツ活動を行った施設名 芦屋市立山手中学校第2グラウンド・第2体育館
- 4 上記施設以外に連携した施設名 芦屋市立山手中学校第1グラウンド、芦屋市立三条地区集会所
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営委組織図



- 6 クラブ設立年月日
 昭和53年9月 三条コミュニティスクール発足
 平成13年3月 三条スポーツクラブ21設立

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	1回当たり出席者数	開催場所	備考
100名	3回（約2時間）	80名	コムスクプレイルーム	運営委員会
50名	8回（約2時間）	40名	クラブハウス その他	推進委員会

年間事業計画、新規事業企画、行事実行委員会、予算、スポーツ保険推進、会員募集、施設利用日程調整等

8 クラブ名、会員数(性別、年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	会員数(性別、年齢構成)			活動種目
	489人	男 260(人)	女 229(人)	
三条スポーツクラブ21	～10歳	105	53	・少年野球 ・少年サッカー
	～20歳	60	23	・バレーボール ・健康体操
	～30歳	5	10	・卓球 ・硬式テニス
	～40歳	23	30	・ソフトテニス
	～50歳	15	33	・ウォーキング
	～60歳	15	15	・ラジオ体操
	61歳以上	37	65	・民謡踊り ・新体力テスト測定会

9 配置した指導者の資格名と資格別人数

スポーツ推進委員(日本体育協会スポーツリーダー、体力測定判定員等)2名、兵庫県軟式少年野球審判員 6名、 スポーツ指導員(健康体操)・中学校保健体育教諭資格 1名、サッカー指導C級 1名・D級 4名・審判員 4級 10名

10 実施した事業内容

実施事業者名	ねらい等	回数、日数	対象者	参加人数	開催施設
少年サッカー	定期的練習 及び スポーツの普及 (生涯スポーツの普及)	毎週 日曜日	三条スポーツ クラブ21会員	60名	第2グラウンド
少年野球		毎週 土・日		50名	第2グラウンド
卓球		毎週 土曜日		30名	第2体育館
健康体操		月3回 水曜日		40名	三条地区集会所
硬式テニス		毎週 日曜日		30名	第2グラウンド
バレーボール		毎週 土曜日		20名	第2体育館
ソフトテニス		毎週 日曜日		7名	第2グラウンド
新体力テスト測定会・ 体カづくり相談	健康・体カづくり	6/2	20才～79才 の地域住民	30名	第2体育館
ラジオ体操	地域交流 異世代交流	7/20～8/29 25日間	スポーツ21 クラブ会員 及び 地域住民	1日 平均 120名	地域内4会場 1週間毎に移動
民謡踊り		8/19、25		100名	地域内集会所
第36回運動会		10/31		380名	第2グラウンド
ウォーキング	地域・異世代交流	1/1	地域住民	30名	地域内
広報紙発行	広報活動	年6回	地域全域配布	3,700世帯	

別記(準用)

平成27年度 収 支 決 算 書

1 収入の部

クラブ名 (スポーツクラブ21潮見)

科 目	決 算 額	摘 要
助成金	(2,655,784 円) 2,655,784 円	市推進委員会事務局より (前年度繰越金)
クラブ財源金	(1,271,454) 1,261,195	クラブ自主財源 (前年度繰越金)
年会費	(94,000) 105,000	年会費 (自主財源)
イベント参加費	(30,000) 24,450	行事参加費 (自主財源)
雑収入	(30,000) 112,019	事業収益金 (自主財源)
利息	(700) 711	銀行利息 (自主財源) 基金及びクラブ
計	(4,081,938) 4,159,159	(左記金額内の自主財源1,503,375円)

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
運動拠点整備費	(300,000 円) 154,224	管理備品 (クラブ備品・事務室備品)
消耗品費	(50,000) 52,380	事務用品印刷機マスター・トナー
諸謝金	(40,000) 20,000	防災関連事業謝金
事業費	(70,000) 84,176	地域スポーツ参加費用 40,000 夏祭り備品・飲料 14,822 (自主) 健康フェスタ18,840 (自主) 用具514 (自主) オープンスクール事業費 (10,000)
雑費	(10,000) 432	振込手数料
通信運搬費	(40,000) 35,760	全県サミット交通費及び雑費 (5,760) 役員通信運搬費 (30,000)
会議費	(10,000) 1,000	県会費
保険料	(20,000) 21,370	オープンスクール保険料
基金	(2,145,784) 2,320,618	平成28年度へ繰越金
クラブ積立金	(1,396,154) 1,469,199	平成28年度へ繰越金
計	(4,081,938) 4,159,159	

S C 2 1
潮見

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。
・申請内容を上段に () 書き、実績を下段に記入する。

事業報告書(27年度)

1. 指定小学校区とその概要(芦屋市立潮見小学校区)

当校区は、兵庫県企業庁が昭和50年代はじめに芦屋浜を埋め立て、開発した「芦屋浜シーサイドタウン」の宮川以西及び南芦屋浜の新興住宅地である。高層住宅、中層住宅、低層連続住宅、独立住宅が昭和54年から入居以来関係住民が精力的に活動し、加えて昭和56年にコミュニティ・スクールが設置されスポーツや文化活動を通じて比較的まとまりのある校区である。

また、阪神淡路大震災のあと南芦屋浜地区に復興住宅が大量に建設され新たな住民の増加と独立住宅も多数建設され、新たなコミュニティづくりに苦慮しているところもある。

また、少子化と生活環境の多様化など、余暇を利用してのスポーツや地域行事に参加する人口が減少しているが、既存のスポーツクラブにおいては指導者や保護者の協力のもとに、青少年の育成と体力の向上を目的に地域に根ざした活動を活発に行っている。

2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所(連絡先[TEL, FAX])

芦屋市立潮見小学校 南校舎 3階
芦屋市潮見町1番2号

3. スポーツ活動を行う施設名とその概要

小学校グラウンド及び体育館

4. 上記施設以外の他の連携する施設名 該当なし

5. 運営委員会の構成員とクラブ運営組織図及びクラブ設立年月日

平成13年6月3日(クラブ設立年月日)

6. クラブ設立までの経緯

実施時期	事項	内容
平成12年 9月	準備幹事会	スポーツクラブ21の趣旨確認
平成12年11月	"	参加意思の確認
平成13年 1月		
平成13年 4月23日	準備幹事会	会則・事業計画・予算最終原案
平成13年 5月	準備幹事会	会則・事業計画・予算原案作成 設立総会の準備・年間計画の調整
平成13年 6月3日	設立総会	会則の承認・役員選出 事業計画の承認・予算の承認

7. 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数(時間数)	1回当たりの出席者数	開催場所	備考
28名	10回(毎1.5h)	28人	潮見小2F SC21会議室	他に小委員会 事業の準備会を開催
1. クラブ活動報告		2. 事業内容の打合わせ		
3. 広報活動について		4. 連絡調整等		
年次総会 27年5月16日(土)開催 潮見小SC会議室 新旧委員40名				

8. クラブ名等

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	種目名
シーサイド若葉	休部中	成人野球
潮見スターズ	7~12 (男女) 20名	少年野球
" 指導者	20~60 (男) 10名	
たんぽぽ(卓球)	40~70 (男女) 12名	卓球
潮見ミニバスケット教室	7~12 (男女) 36名	バスケット
" 指導者	30~60 (男女) 5名	"
シーサイドバスケット	18~70 (女子) 10名	"
潮見少年サッカークラブ	5~12 (男子) 20名	サッカー
" 指導者	20~60 (男子) 8名	"
潮見フットサルクラブ	20~40 (男子) 10名	"
少林寺流錬心館空手	5~60 (男女) 12名	空手
" 指導者	(男子) 1名	
潮見バドミントンクラブ	20~70 (男女) 18名	バドミントン
スポンジボールテニスクラブ	20~75 (男女) 19名	スポンジボールテニス
潮見健康体操倶楽部	20才以上 (女子) 6名	健康体操
こくさいひろば芦屋	6~80 (男女) 21名	国際交流全般
アップル(Jr.英会話)	6~12 (男女) 13名	ジュニア英会話と遊び
金管バンド	10~12 (男女) 20名	金管楽器演奏
" 指導者	(女子) 1名	
絵んJoyクラブ	6~大人 (男女) 20名	図工全般
" 指導者	(女子) 1名	
和太鼓あしかぜ	40~80 (男女) 19名	和太鼓
" 指導者	(男子) 1名	

合計283名

9. 配置した指導者の資格名と資格別人数

種目	指導者の資格名	資格別人数
バスケット	兵庫県家庭婦人公認審判員	1名
サッカー	日本サッカー協会C級指導員	3名
"	D級指導員	2名
"	4級審判資格	5名
"	3級審判資格	2名
フットサル	フットサル審判4級	4名
少林寺流錬心館空手	全日本空手道連盟6段	1名
こくさいひろば芦屋	教員免許	9名
少年野球	県軟式野球連盟 公認審判員	2名
"	県軟式少年野球協会A級ライセンス	6名

10. 実施した事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
夏休みラジオ体操	体力づくりと地域交流	27年7月21日 ～7月31日	地域住民 (子ども ～大人)	延 250名	潮見小学校 グラウンド
ニュースポーツ &餅つき大会 「1.17は忘れぬ日」	地域交流とスポーツ参加 意識向上の為	28年1月31日	地域住民 (大人～ 子供)	600名	潮見小学校 グラウンド
広 報 活 動	クラブ活動と各事業への 参加を呼びかけるポスター・ チラシを配布。	年間 4回	地域内		
《その他の活動》	各種スポーツ大会へ参 加し、他団体との交流				
ドラゴンボートレ ース大会参加	市内団体主催の海洋スポ ーツ大会に協力	27年 8月 2日	大人・ 青少年	8チーム	南芦屋浜 水路
スポーツフェスティ バルへの参加	健康フェスタ協力 (体力テスト協力)	27年10月18日	大人 子ども	300人	潮見中 グラウンド
《オープンスクール》					
ミニバスケット	種目団体による 地域でのスポーツ活性化 の為に実施	4月	地域の 子ども	多数参加	潮見小 体育館 グラウンド 音楽室
少年サッカー		4月			
少年野球		11月			
金管バンド		11月			

SC21 宮川

平成27年度 会計収支決算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(スポーツクラブ21宮川)

収入の部 [(予算額)単位:円]

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	(172,304 172,304)	
会費	(160,000 179,000)	179名×1000円
備品・機材貸出料	(10,000 16,500)	照明・音響代
雑収入	(16,000 19,851)	印刷代
利息	(50 47)	
合計	(358,354 387,702)	

支出の部 [(予算額)単位:円]

項目	決算額	摘要
会議・事務費	(20,000 19,431)	マスター・インク・用紙代
拠点整備費	(20,000 15,880)	ロッカー代
広報誌作成費	(10,000 10,000)	印刷代
夏祭り費	(20,000 13,000)	保険料・ゴミ処理代
スポーツフェスティバル費	(100,000 73,259)	保険料・賞品代
文化祭費	(10,000 28,136)	保険料・第20回記念品代
臨時事業費	(10,000 3,163)	スポーツチャレンジ賞品代
対外活動費	(10,000 1,500)	交通費
雑費	(10,000 10,000)	会費返却代
修繕・維持費	(120,000 6,848)	玄関ドア・壁・印刷機修理代
予備費	(28,354 0)	
次年度繰越金	(- 206,485)	次年度繰越
合計	(358,354 387,702)	

事業報告書

1 指定小学校区とその概要

「芦屋市立宮川小学校区」

芦屋市立宮川小学校は本年で創立86周年を迎える伝統ある小学校である。その故に小学校区内の住民は宮川小学校の卒業生が多く、小学校に対する親しみも強く、また、古くから住んでいる人達が多く地域の連帯感がある。小学校区内の7つの町の自治会町内会も活性化しており、20年以上の歴史を持つコミュニティ・スクールへの参加率も高く各種の活動が活性化している地域である。
地域的に利点があるのは小学校が小学校区の真中にあり、人々が集まりやすい事がある。

2 活動拠点となったクラブハウスの設置場所

「芦屋市立宮川小学校グラウンド南プール棟1階」

宮川小学校グラウンド南プール棟の1階は宮川コミュニティ・スクールのフロアとして使用しているのでその一室を改造して「スポーツクラブ21 宮川」のクラブハウスとして使用する。

3 スポーツ活動を行なった施設名とその概要（参考資料添付）

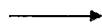
小学校体育館・グラウンド・コミスクフロア

4 上記施設以外の他の連携する施設名

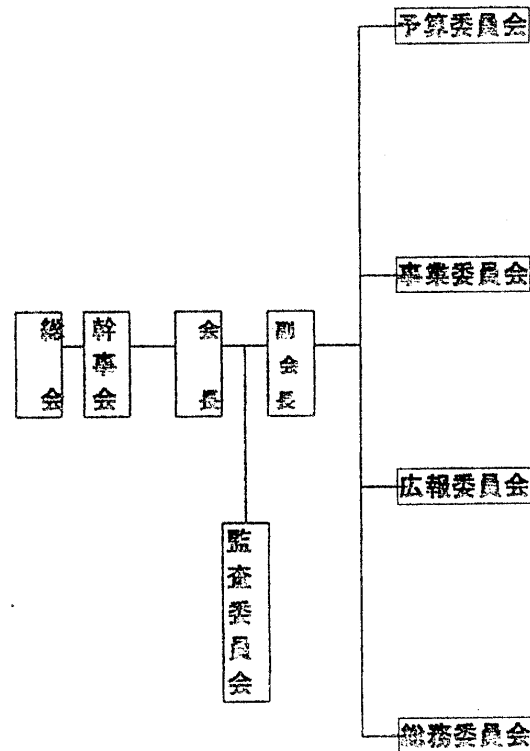
該当なし

5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要

会長	1名
副会長	2名
役員	6名
幹事	8名



スポーツクラブ 21 宮川
幹事会



6 クラブ設立までの経緯

実施日	事項	内容
平成13年6月16日	設立準備委員会発足	委員を選出及び概略説明
平成13年7月14日	スポーツ指導者公聴会	各クラブの現状把握及び希望聴取
平成13年7月21日	設立準備委員会	規約・予算他の草案作成
平成13年8月22日	事務局会議	各種打合せ
平成13年9月22日	設立準備委員会	規約・予算・組織他の最終案決定
平成13年10月20日	事務局会議	総会準備
平成13年10月27日	設立総会	

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	1回当たり出席者数	開催場所
17名	11回	平均15名	宮川コミスク会議室

事業の企画立案・予算処置・企画実施打ち合わせ

8 クラブ会員数（性別・年齢構成）及活動種目

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	活動種目
宮川少年サッカースクール	64名(小学生 男子64名)	サッカー
宮川ミニバドミントンクラブ	13名(小学生 女子11名 男子2名)	バドミントン
宮川バドミントン同好会	8名(15歳以上 女子8名)	バドミントン
宮川クラブ	12名(成人 女子12名)	バレーボール
ソフトバレーボールクラブ	14名(成人 女子14名)	ソフトバレーボール
宮川少年野球団	20名(小学生 男子20名)	野球
宮川ミニバスケットボール	14名(小学生 男子14名)	バスケットボール
宮川空手道教室	34名(小学生 男子29名 女子5名)	空手
8団体	179名	

9 配置した指導者の資格名と資格別人数

種目	指導者の資格	資格別人数
サッカー	地域有志	8名
野球	公認審判員	4名
	地域有志	12名
バスケット	公認審判員	1名
	地域有志	4名
バドミントン	日本体育協会・指導員	2名
	公認審判員	3名

10 実施した事業内容

実施事業名	ねらい等	回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
夏祭り	地域活性化	1回	地域全員	約500名	体育館 他
宮川国際スポーツフェスティバル	4世代・国際交流	1回	地域全員	約700名	グラウンド
各クラブ活動	専門種目の個別活動	週 1~2回	各会員	179名	全施設

SC21 YAMATE

別記(準用)

収支決算書

1 収入の部

クラブ名 (スポーツクラブ21YAMATE)

科目	決算額	摘要
助成金	(3,361,855) 3,361,855	
自主財源額	(3,952,914) 3,952,914	
会費	(200,000) 142,000	年会費 500円×284人
運営拠点維持費	(35,000) 26,400	自主財源 100円×264人
参加費・事業費	(320,000) 226,500	自主事業参加費
利息	(1,231) 1,219	自主財源 ①基金通帳利息 439円 ②クラブ通帳基金 780円
計	(7,871,000) 7,710,888	

2 支出の部

科目	決算額	摘要
運営拠点整備費	(100,000) 0	管理備品費
スポーツ用品購入費	(250,000) 12,330	各種スポーツ用品購入費
報奨費	(200,000) 112,000	指導者 謝礼金・交通費等
運営費	(200,000) 238,787	イベント開催費用
傷害保険料 (役員・各種行事)	(17,000) 26,332	
消耗品費	(100,000) 42,903	スポーツ活動 事務用品消耗品費等
会議費	(10,000) 4,320	総会・運営委員会等
クラブハウス維持費	(25,000) 30,746	光熱費・電話代等
使用料・賃貸料	(20,000) 0	スポーツ施設・会議費・用品等使用料
通信運搬費	(10,000) 0	会員連絡送料
広告費	(10,000) 0	
印刷製本費	(100,000) 0	広報紙・会員証作成費等
基金	(2,319,855) 2,894,437	
自主財源	(4,509,145) 4,349,033	
計	(7,871,000) 7,710,888	

事業実績書

1. 芦屋市立山手小学校
2. 芦屋市立山手小学校 西棟3F 芦屋市山手町8-3
3. 小学校運動場・体育館・プール
4. 芦屋市大原町大原集会所
5. 総会資料添付
6. 2000年10月 地域住民にPR
2001年11月26日 設立
7. 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数(時間数)	1回あたりの出席者数	開催場所	備考
40人	11回(11X1時間)	25~30人	クラブハウス	

(委員会の主な内容)

月日	内 容
5・8	総会 引き続き役員会にて年間行事について検討 ・ ドッジボール大会準備
6・10	・ 5月27日開催 ドッジボール大会の反省 ・ 7月21~25日 水泳講習会について講師と打ち合わせ ・ 各クラブの報告および行事予定
7・8	・ 7月21~25日 水泳講習会 参加者予定 90人 ・ 8.29 サリュ!ペタンク オープン大会 打ち合わせ(会場の芦屋学園高校に依頼) ・ 各クラブの報告および行事予定
9・10	・ 「水泳講習会」の反省 ・ 「サリュ!ペタンク オープン大会」の反省 ・ 10月12日「市民スポーツフェスタ」(芦屋市スポーツ推進委員会主催) ・ 参加クラブ募集→エントリークラブなし ・ 各クラブの報告および行事予定
10・14	・ 10月21日「みんなで遊ぼう」の打ち合わせ ・ 各クラブの報告および行事予定
11・11	・ 各クラブの報告および行事予定 ・ 12月12日 山手コミスク主催「餅もちフェスティバル」に協力の打ち合わせ
12・10	・ 「餅もちフェスティバル」最終打ち合わせ ・ 各クラブの報告および行事予定
28年 1・13	・ 「餅もちフェスティバル」反省&申し送り事項 ・ 広報紙掲載原稿を各クラブに依頼 ・ 各クラブの報告および行事予定
2・10	・ 各クラブの報告および行事予定
3・9	・ 新年度にむけて出向役員の依頼 ・ 4月16日「YAMATE フェスタ」について ・ 各クラブの報告および行事予定
4・12	・ 新旧出向役員の引き継ぎ ・ 4月16日「YAMATE フェスタ」について ・ 各クラブの行事予定 総会にむけて打ち合わせ

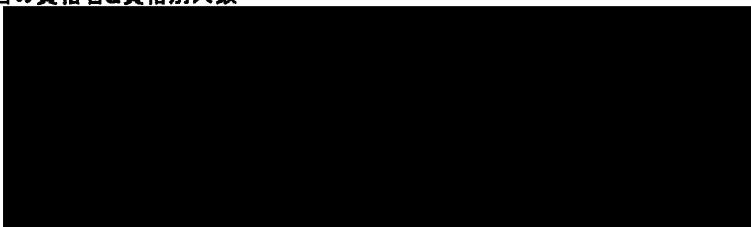
8. クラブ名・会員数(性別・年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	種目名
山手・三条サッカークラブ	56人(男性50人 女性6人) ~10歳 男性37人 女性6人 ~20歳 男性13人	サッカー
山手バスケット WEDNESDAY	20人(男性10人) ~20歳 男性1人 ~30歳 9人	バスケットボール
山手バスケット 土曜クラブ	20人(男性20人) ~30歳 男性1人 ~30歳 男性17人 ~40歳 男性3人	バスケットボール
山手 中学生バスケットボール教室	17人(男性9人 女性8人) ~20歳 男性9人 女性8人	バスケットボール
山手 ミニバスケットボール教室	12人(男性11人 女性1人) ~10歳 男性8人 ~20歳 男性3人 女性1人	バスケットボール
クォーターテニスクラブ	12人(男性4人 女性8人) ~61歳 男性4人 女性8人	クォーターテニス
山手スポーツ空手クラブ	43人(男性29人 女性14人) ~10歳 男性15人 女性6人 ~20歳 男性6人 女性4人 ~30歳 男性0人 ~40歳 男性3人 女性1人 ~50歳 男性4人 女性3人 ~60歳 男性1人	空手
サリュ! ペタンク	13人(男性8人 女性4人) ~20歳 男性1人 ~40歳 男性1人 ~50歳 男性2人 ~60歳 女性1人 61歳~ 男性5人 女性3人	ペタンク
卓球クラブ	11人(男性6人 女性3人) ~10歳 男性1人 61歳~ 男性5人 女性5人	卓球
YAMATEアスリートクラブ	25人(男性15人 女性10人) ~10歳 男性15人 女性10人 ~20歳 男性0人 女性0人	陸上
YAMATE 体操クラブ	20人(男性10人 女性10人) ~10歳 男性9人 女性7人 ~20歳 男性1人 女性3人	幼児体育
健康体操クラブ	20人(女性20人) ~50歳 女性2人 61歳~ 女性18人	体操

山手太鼓	4人(男性3人 女性1人) ~10歳 男性2人 ~20歳 男性1人 ~30歳 女性1人 ~40歳 ~50歳	和太鼓
------	--	-----

9. 配置した指導者の資格名と資格別人数

空手クラブ :



サッカークラブ: 審判員 3級:1人 4級:8人
4種公認指導員 C級:1人 D級:2人

バスケットボールクラブ:日本バスケットボール協会 JABBA 公認コーチD級地域スポーツライセンス 2人

健康体操クラブ:健康運動指導士・日本ウォーキング協会ウォーキング指導員・健康支援トレーナー

YAMATE 体操クラブ:幼児教育初級公認指導員

和太鼓 :

10. 実施した事業内容

実施事業名	わらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
親子ドッジボール大会	親子のふれあい	5月27日	山小家族	150人	山小運動場
各クラブオープン教室	クラブPR 新会員獲得	4・5月	地域住民	各20人程度	山小体育館 山小運動場
YAMATEフェスタ	クラブPR 新会員獲得	4月18日	地域住民	200人	山小体育館 山小運動場
山手コミスク 「夏の夜のつどい」共催	地域の親睦	7月18日	地域住民	約900人	山小運動場
救急講習会	研修会	7月15日	地域住民	20人	クラブハウス
水泳講習会	水泳講習	7月21~25日	小学生	80人	山小プール
サリュ!ペタンク オープン大会	地域の親睦	8月29日	地域住民 愛好者	200人	芦屋学園高校 運動場
みんなで遊ぼう (障害物競争・おにごっこ 他)	子ども達の運動 機会を設ける 単純なゲームの 面白さを味わう	10月21日	山小児童	100人	山小運動場
餅もちフェスティバル 共催	地域の親睦	12月12日	地域住民	約900人	山小運動場
広報活動	幅広く地域住民にス ポーツクラブをPR 参加呼びかけ	7月 3月	地域内 全域		

収支決算書

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

1 収入の部

科目	決算額	摘要
助成金	(275,463円) 275,463円	市推進委員会事務局より
クラブ自主財源	(4,984,897円) 4,984,897円	前年度繰越金
会費	(300,000円) 283,000円	年会費 @1,000×280人 @500×6人(半年分) ※自主財源
雑収入	(20,000円) 13,200円	行事参加費 @100×132人 ※自主財源
利息	(1,000円) 948円	クラブ通帳利息 533円 定期利息 401円 基金通帳利息 14円 ※自主財源
合計	(5,581,360円) 5,557,508円	

2 支出の部

科目	決算額	摘要
運営拠点整備費	(100,000円) 3,780円	石灰代
スポーツ活動費	(200,000円) 78,509円	オープンスクール 合宿費補助 他 72,319円(基金) 6,190円(自主)
事業費	(100,000円) 26,168円	ふれあいDAY 夏祭り協賛金 他
管理費	(100,000円) 10,421円	事務用品、振込料 他
保険費	(10,000円) 2,700円	イベント保険料(自主)
会議費	(25,000円) 2,680円	総会・運営委員会費等(自主)
その他経費	(50,000円) 31,000円	功労賞他(自主)
自主財源	(4,970,897円) 5,239,475円	クラブ通帳へ預金
基金	(25,463円) 162,775円	基金積立金
計	(5,581,360円) 5,557,508円	

（注）・収支の計はそれぞれ一致する。

朝日ヶ丘

SC21

事業報告書
 <朝日ヶ丘スポーツクラブ 21>

1、指定小学校区

「朝日ヶ丘小学校」校区

2、活動拠点となるクラブハウス設置場所

芦屋市立朝日ヶ丘小学校 2F 205号室
 住所：芦屋市朝日ヶ丘町 10-10

3、スポーツ活動を行う施設名

朝日ヶ丘小学校 グランド及び体育館

4、上記施設以外の他の連携する施設

朝日ヶ丘幼稚園 遊戯室及び空き教室

5、運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

[役員会]		[総 会]		
役員会	人数	運営委員会	人数	所 属
会 長	1名	運営委員長	1名	役員会
副 会 長	2名	運 営 委 員	26名	体育部
総務担当	2名	運 営 委 員	1名	文化部
広報担当	2名	運 営 委 員	1名	P T A
会計担当	2名	運 営 委 員	2名	地 域
監 査 役	2名	合 計	31名	
合 計	11名			

尚、役員会及び運営委員会の開催は年6回（2ヶ月単位）とするが、会長・委員長の養成に応じて随時に臨時委員会を開催できるものとする。

6、クラブ設立年月日

平成14年10月5日（スポーツクラブ21発足総会）

7、運営委員会等の開催と協議内容

実施時期	事 項	内 容 等
毎月1回	運営委員会	クラブ運営全般
平成27年5月9日	総会	平成26年度事業及び決算報告 平成27年度事業計画、予算の承認
平成28年3月28日	監査	

8、クラブ名、会員予定数（性別、年齢構成）及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数（性別、年齢構成）	活 動 種 目
朝日ヶ丘 スポーツクラブ 21	286人(男性156人 女性130人)	・サッカー
	～10歳 104人 42人	・野球 ・卓球
	～20歳 4人 3人	・ミニバスケットボール
	～30歳 1人 4人	・ミニテニス
	～40歳 22人 4人	・空手道
	～50歳 4人 8人	・クォーターテニス
	～60歳 0人 10人	・健康体操
61歳以上 21人 59人	・バドミントン ・フラダンス	

9、配属した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格	資格別人数	指導者の資格	資格別人数
軟式野球連盟審判員	3名	日本体育協会公認スポーツ指導員	1名
JFA公認4級公式審判員資格	7名	日本空手道糸洲会範士九段	1名
JFA公認3級公式審判員資格	2名	日本空手道糸洲会範士七段	1名
JFA公認C級指導者	1名	日本バスケットボール協会公認コーチ	1名
JFA公認D級指導者	1名	地域スポーツ指導員	1名
JFA公認キッズリーダー	2名	公認新体力測定指導員	1名
芦屋市スポーツリーダー	5名	公認障害者スポーツ指導員(初級)	1名
公式審判員(バドミントン)	1名	地元有志	19名
〃(クォーターテニス)	2名	合計	51名
ジュニアスポーツ指導員	1名		

10、実施を予定する事業内容

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
スポーツ活動 ・サッカー ・野球 ・ミニバスケットボール ・ミニテニス ・空手道 ・卓球 ・クォーターテニス ・バドミントン ・健康体操 ・フラダンス	週1回定期的に練習を行い専門的知識及び技術の習得にあたる	毎週土・日曜日 毎週土・日曜日 毎週火・金・土曜日 毎週火曜日 毎週月・木曜日 毎週土曜日 毎週日・水・土曜日 毎週日曜日 毎週木曜日 毎週火曜日	会員	76人 35人 31人 24人 27人 10人 44人 6人 22人 11人	小学校 グラウンド 体育館 等 幼稚園遊戯室 ゆうゆうクラブ
スポーツ教室 ・野球 ・サッカー ・空手	未経験者や初心者 者に基礎、基本 を学んでもらう ことにより、ス ポーツの楽しさ を実感してもら う	4/18 4/26 6/21 4/26 7/2	会員 地域住 民	48人 19人 25人	小学校 グラウンド 体育館 等
クラブ内交流会	会員相互の交流 を図るためのス ポーツ大会等の 開催	各クラブが独自に 開催 年1～2回	会員		小学校 グラウンド 体育館 等
イベント ・ふれあい運動会 ・ふれあいDAY ・普通救命講習会 ・プール開放 ・もちつき大会	イベントを通し て3世代交流を 図る	5月30日 9月27日 6月30日 7月17日 12月6日	会員 地域住 民	1200人 261人 10人 警報中止 800人	小学校グラウンド 小学校グラウンド 視聴覚室 市民プール 小学校グラウンド
広報活動	幅広くクラブへ の参加をよびか けるため広報紙 やチラシの作成 配布	年2回	地域住 民		

別記(準用)

収支決算書

SC21 打出浜

1 収入の部 クラブ名 (スポーツクラブ21打出浜)

科目	決算額	摘要
前年度繰越金	(2,602,763 円) 2,602,763 円	
会費	(250,000) 256,000	年会費@1000×256
イベント参加料	(100,000) 100,400	ファンラン 184名
利息	(300) 418	
雑収入	(30,000) 25,700	ファンラン売り上げ他
計	(2,983,063) 2,985,281	

2 支出の部

科目	決算額	摘要
スポーツ活動費	(300,000 円) 263,832 円	バレーボールカバー・サイドベルト ・ラインパウダー・他
事業費	(300,000) 139,240	花火教室 ファンラン他
広報活動費	(30,000) 0	印刷用紙他
会議費	(35,000) 40,000	新年互例会経費
事務管理費	(30,000) 0	文具消耗品費
整備費	(100,000) 0	
雑費	(3,000) 1,404	振込手数料
次年度繰越金	(2,185,063) 2,540,805	
	()	
	()	
計	(2,983,063) 2,985,281	

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。
・申請内容を上段に()書き、実績を下段に記入する。

事業実績書

- 1 指定小学校区
芦屋市立打出浜小学校区
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL, FAX〕）
芦屋市新浜町8-2
- 3 スポーツ活動を行った施設名
打出浜小学校体育館・運動場
- 4 上記施設以外に連携した施設名
兵庫県立海洋体育館
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図
運営組織図 別途添付
- 6 クラブ設立年月日
平成14年10月26日
- 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数 (時間数)	1回当たりの 出席者数	開催場所	備考
幹事会	12回(月1回) (1回約1時間)	35人	クラブハウス	活動企画等の承認
事務局会議	12回(月1回) (1回約2時間)	8人	クラブハウス	事業の企画立案
広報委員会	4回	5人	クラブハウス	広報紙作成
(検討した協議内容について、具体的に記入する。) 事業(ファンランや祭その他)の企画立案、役割分担、進行についての詳細検討。				

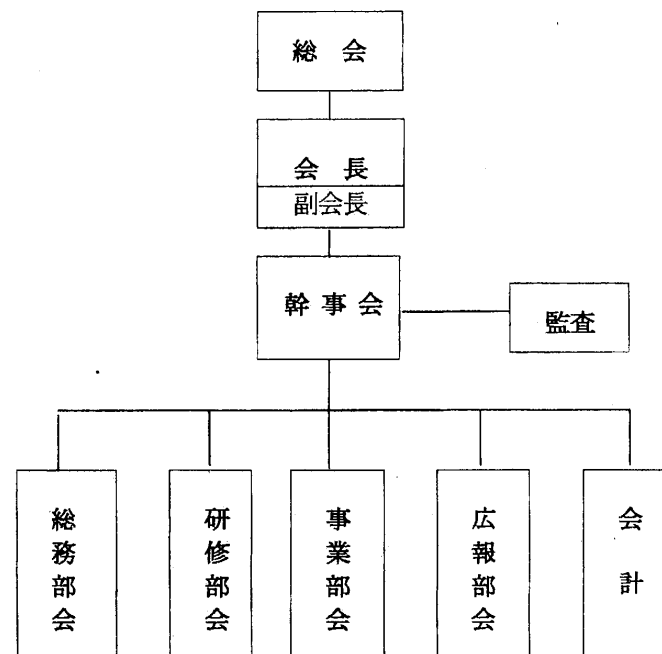
- 8 クラブ名、会員数(性別、年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)		活動種目
スポーツクラブ21 打出浜 (クラブ数14)	人(男性 人、女性 人)		・野球・少年サッカー ・サッカー・剣道 ・ソフトバレー・空手 ・卓球・バレーボール ・ミニバドミントン ・バドミントン ・ミニバスケット ・カヌー・健康体操 ・クォーターテニス
	～10歳	100人 17人	
	～20歳	36人 9人	
	～30歳	4人 1人	
	～40歳	4人 5人	
	～50歳	10人 6人	
	～60歳	8人 18人	
61歳～	16人 20人		

- 9 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
公認資格者	34人
地元有志	20人

5. スポーツクラブ21打出浜 運営組織図



平成27年度 役員名簿

役職	氏名	住所	電話	所属
会長				カヌークラブ
副会長				打出浜FC
副会長				打出浜小学校教頭
会計				ソフトバレー
会計				卓球
総務部部长				健康体操クラブ
広報部部长				打出浜FC
研修部部长				バドミントン
事業部部长				健康体操クラブ
監査				前監事
監査				前幹事

10 実施した事業内容

(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
総会	役員の決定 年間行事決定 予算決定	H27年5月16日	運営委員 新・旧	60人	クラブハウス
幹事会	活動企画の承認・事業企画立案	毎月1回	運営委員	35人	クラブハウス
各クラブ活動	週1回以上練習等実施、スポーツの特性を学び技術の向上を図る	毎月の施設使用申請書にもとづく	登録者	254名	運動場 体育館 クラブハウス
芦屋ドラゴンボートレースに参加	違うスポーツを通じて団結力を養う	H27年8月2日	小学生クラブチーム	20名	芦屋キャナルパーク
打出浜コミスク秋まつり共催	スポーツに親しみを持つよう出店 フリースローゲーム	H27年10月24日	地域住民	240名	体育館
打出浜ファンラン2015	地域住民が持続的にスポーツに関わるきっかけ作り	H27年11月29日	地域住民	200名	運動場～芦屋市マラソンコース
コミスク三世交代交流スポーツ大会(クオリティ-大会)に共催	地域住民三世代がニュースポーツを通して交流を図る	H28年1月16日	地域住民	約110名	体育館
新年互礼会	各クラブと地域役員の親睦会	H28年1月16日	指導者・幹事・自治会役員	40人	ふぁみりーれすとらんおとわ
スポーツクラブ21・コミスク活動展	各クラブ活動を紙面に展示紹介	H28年2月5日～2月6日	各クラブ	14登録団体	体育館・通路の壁
救命救急講習会	アクシデントに対する基礎知識の体得	H28年2月20日	地域住民	13名	クラブハウス

岩園 S C 2 1

平成27年度 岩園スポーツクラブ21

収 支 決 算 書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1 収入の部

科 目	決 算 額	摘 要
助 成 金	(5,756,968 円) 5,756,968 円	市推進委員会事務局より
自主財源積立金	(3,656,565 円) 3,656,565 円	前年度積立金残
会 費	(190,000 円) 204,400 円	[内訳] 年会費：@200円×479人 活動拠点維持費：@300円×362人
雑 収 入	(100,000 円) 150,450 円	[内訳] 講座参加費＝123,000円 広報広告料＝22,500円 印刷機使用料＝4,950円
銀 行 利 息	(0 円) 1,741 円	[内訳] 基金預金利息＝873円 クラブ運営預金利息＝273円 自主財源積立金利息＝595円
計	(9,703,533 円) 9,770,124 円	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
運 営 拠 点 整 備 費	(1,000,000 円) 0 円	
スポーツ用品 購入・修理費	(500,000 円) 37,000 円	デジタルタイマー電源コード・ ミニコンプレッサー・ライン引き
事 業 費	(240,000 円) 122,928 円	水泳教室、講師謝金 等 (自主財源からの支出額：行事保険代金4,320円)
運 営 費	(50,000 円) 7,720 円	事務、会議費、通信費 等 (自主財源からの支出額： 県連絡協議会への会費1,000円)
広 報 活 動 費	(70,000 円) 61,506 円	広報紙(6000部/1回)を 発行2回、記録写真 等
基 金	(7,843,533 円) 9,540,970 円	基金積立5,533,134円＋ 本年度自主財源積立4,007,836円
計	(9,703,533 円) 9,770,124 円	

- (注)・収支の計は、それぞれ一致する。
 ・申請内容を上段に()書き、実績を下段に記入する。
 ・科目は、収支予算書と一致する

岩園スポーツクラブ 21

事業報告書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1 指定小学校区 芦屋市立岩園小学校

2 活動拠点となったクラブハウス設置場所 (連絡先 [Tel, Fax])

芦屋市立岩園小学校 敷地内

[住 所] 芦屋市岩園町23-41

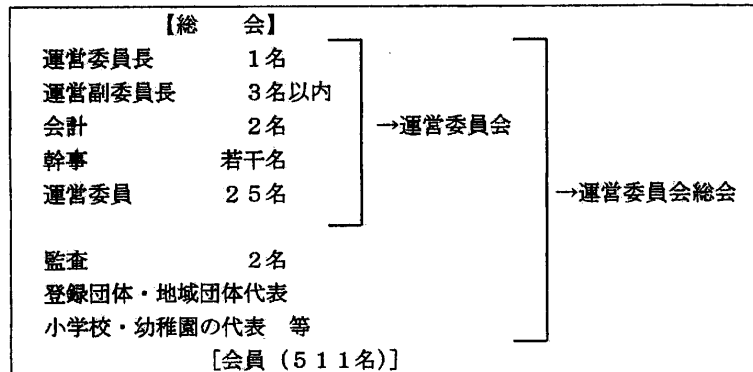
3 スポーツ活動を行った施設名とその概要

岩園小学校 グラウンド 及び 体育館

4 上記以外の他の連携する施設名

芦屋市立岩園幼稚園 ←H27年春から建て替えの為、使用不可

5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織概要



6 クラブ設立年月日 平成14年11月21日

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催日数	1回当たりの出席者数	開催場所	備考
50名	12回(2時間)	40名	スポーツクラブ ハウス	

協議内容 - 活動推進のための話し合い

※ 上記の定例会議以外に、定例役員会 毎月1回
各事業に伴う企画・運営委員会 等
啓蒙・啓発の広報作成会議 等

8 クラブ名 等

クラブ名	クラブ会員数 (性別、年齢構成)		種 目 名	
	男	女		
岩園スポーツ クラブ21	0才～10才	147	76	テニス・健康体操・剣道・卓球・空手・少年少女サッカー・少年少女野球・婦人バレーボール・バスケットボール・ミニバスケットボール・クォーターテニス・日舞・囲碁・(水泳)
	11才～20才	22	20	
	21才～30才	2	3	
	31才～40才	10	29	
	41才～50才	18	25	
	51才～60才	17	25	
	61才以上	39	46	
総数 (男)	255名+	(女) 224名	= 479名	

9 配置した指導者の資格と資格別人数

指 導 者 の 資 格 名	資格別人数
日本体育協会公認A級指導員	1名
日本体操協会公認体操マスター指導員	1名
公認体力テスト判定員	1名
芦屋市スポーツリーダー	1名
剣道範士 8段	1名
剣道教士 7段	1名
剣道練士 7段	1名

剣道錬士 6段	1名
全日本空手道 松剛館公認指導員	3名
日本サッカー協会公認C級指導員	3名
兵庫県サッカー協会3級審判員	3名
兵庫県サッカー協会4級審判員	3名
日本体育協会公認B級指導員(バレーボール)	1名
日本バレーボール協会公認名誉審判員	1名
兵庫県家庭婦人バレーボール認定審判員	3名
地元有志	20名

10 実施した事業内容

実施事業名	目的及び開催回数・日数	対象者(参加人数)	開催施設
専門種目のサークル活動 ・テニス ・健康体操 ・剣道 ・卓球 ・空手 ・サッカー ・少年少女野球 ・婦人バレーボール ・バスケットボール ・ミニバスケットボール ・クォーターテニス ・日舞 ・囲碁	専門種目の年間定例活動 (サークルにより週1～3回)	会員(382名)	岩小グランド 岩小体育館 ミーティング室 和室
オープン・スクール	専門種目の一日体験入門講座 (各サークル年1～2回開催)	地域住民 (延べ80名)	〃
三世代交流スポーツ大会 『みんなと一緒に 風船バレー』	多世代交流を目的とした スポーツ大会 教室増設工事のため、参加者の安全面を 考慮して中止としました。		岩小体育館

救急蘇生法講習会	AEDについて・熱中症対策、 やけど、水の事故等についての 講習会 (H27.6.29) 岩園小学校 PTA と共催	大人(50名)	クラブハウス
新体力テスト測定 会&健康・体力づ くり相談	文科省制定新体力テストを開 催	参加対象の 20 ～79 才まで (50名)	岩小体育館
夏休みプール開放 体育館棟大規模改修の ため時期を変更しなけ ればならず、例年通りの 指導者確保が出来ず受 付者を減らして実施	○小学生水泳教室 (H27.7.21～23～/22/23 雨天の ため21日のみの実施) 要事前申込、初心者対象、3日 間の泳力別少人数グループの 水泳教室	小学生会員 (82名) +指導者・地域協力 者(27名)	岩小プール
『いわぞの 秋祭り』	・全員で有酸素運動「boks」でスタート ・ステージでのサークルパフォーマンス等 多くの地域住民が集う機会にSC21活動 のPRとスポーツ体験コーナー開設 (H27.10.25) 地域住民(1,000名)		岩小校庭、
『ふれあい広場 いわぞの活動展』	「岩園SC21」活動の発表 と啓蒙 (H28.1/28～/31)	会員 地域住民	校舎2F ラウンジ
公式ワナゲ体験会	『活動展』開催時に、 公式ワナゲ体験会開催 (市民大会にエントリー) (H28.1.31)	会員 地域住民	テラス
1.17は忘れない 地域防災訓練	小学校と地域が連携しての 防災訓練 (H28.2.11.)	地域住民 (120名)	校区及び 岩小ラウン ジ、図工室
クリーン作戦	いつも使用している学校施 設を一斉清掃 (H28.2.27)	会員を中心に 地域住民 (子ども&大人180名)	体育館棟及び 校舎開放ゾーン
広報活動	○『岩園SC21』活動の理解と啓蒙を目指し、 H27年7月とH28年3月に広報紙発行 地域全世帯(6,000部)に配布 ○行事毎に、ご案内チラシ・ポスターを作成し配布、貼付		

平成27年度 収支決算書

SC21
精道

1 収入の部 クラブ名 (SC21 精道)

科 目	決 算 額	摘 要
助成金	(4,971,082 円) 4,971,082 円	市推進委員会事務局より
クラブ財源金	(1,702,385) 1,702,385	クラブ自主財源繰越金
年会費	(60,000) 46,600	200円×233人分
活動費	(30,000) 35,000	バドミントン教室等
使用料	(100,000) 94,183	印刷機使用料
雑収入	(5,000) 1,658	預金利息
計	(6,868,467) 6,850,908	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
拠点整備費	(100,000 円) 0 円	* 自主財源 0円
運営費	(320,000) 92,966	* 自主財源 5,138円 3世代交流スポーツ大会、オープンスクール等
備品費	(300,000) 13,184	* 自主財源 0円 投光器購入
諸謝金	(300,000) 25,000	* 自主財源 0円
事務管理費	(170,000) 17,253	* 自主財源11,843円
消耗品費	(110,000) 88,998	* 自主財源 0円 事務消耗品
印刷製本費	(150,000) 88,293	* 自主財源 0円 印刷費
自主財源	(1,847,385) 1,862,845	次年度繰越金
基金	(3,571,082) 4,662,369	次年度繰越金
計	(6,868,467) 6,850,908	

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。
・申請内容を上段に()書き、実績を下段に記入する。

別紙（第12・第13条関係）

**スポーツクラブ21精道
事業実績報告書**
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

- 1 指定小学校区
芦屋市立精道小学校区
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所
芦屋市精道町8-25 芦屋市立精道小学校内
精道コミュニティスクール・スポーツクラブ21 事務局
[Redacted]
- 3 スポーツ活動を行った施設名
精道小学校 グランド及び体育館
- 4 上記施設以外の他の連携した施設名
なし
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

スポーツクラブ21精道

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">会長</td> <td style="padding: 2px;">1人</td> <td style="padding: 2px;">登録団体</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">副会長</td> <td style="padding: 2px;">1人</td> <td style="padding: 2px;">団体10</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">庶務</td> <td style="padding: 2px;">1人</td> <td style="padding: 2px;">(246人)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">会計</td> <td style="padding: 2px;">2人</td> <td style="padding: 2px;">個人会員</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">理事</td> <td style="padding: 2px;">6人</td> <td style="padding: 2px;">(5人)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">監事</td> <td style="padding: 2px;">2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(役員会)</td> <td></td> <td style="padding: 2px;">(代議員総会)</td> </tr> </table>	会長	1人	登録団体	副会長	1人	団体10	庶務	1人	(246人)	会計	2人	個人会員	理事	6人	(5人)	監事	2人		(役員会)		(代議員総会)	
会長	1人	登録団体																				
副会長	1人	団体10																				
庶務	1人	(246人)																				
会計	2人	個人会員																				
理事	6人	(5人)																				
監事	2人																					
(役員会)		(代議員総会)																				

251人(27年度会員)

- 6 クラブ設立年月日
平成15年11月6日(設立総会 平成16年1月31日)

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委員数	開催回数 (時間数)	1回当たり の出席者数	開催場所	備 考
13人	11回 (16時間)	10人	精道小学校内コミスク・ス ポーツクラブ21 事務局	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度実施事業の内容検討(オープンスクール・三代交流スポーツ大会・その他) ・ スポーツクラブ21 精道の運営方針の検討 ・ 平成28年度総会準備 				

8 クラブ名、会員数(性別、年齢構成)及び活動した種目

ク ラ ブ 名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	活 動 種 目																								
スポーツクラブ21 精道 (愛称: ブルーバイン)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">251人(男157人 女94人)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>～10歳</td> <td style="text-align: center;">65人</td> <td style="text-align: center;">7人</td> </tr> <tr> <td>～20歳</td> <td style="text-align: center;">48人</td> <td style="text-align: center;">14人</td> </tr> <tr> <td>～30歳</td> <td style="text-align: center;">15人</td> <td style="text-align: center;">7人</td> </tr> <tr> <td>～40歳</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td style="text-align: center;">4人</td> </tr> <tr> <td>～50歳</td> <td style="text-align: center;">5人</td> <td style="text-align: center;">17人</td> </tr> <tr> <td>～60歳</td> <td style="text-align: center;">8人</td> <td style="text-align: center;">10人</td> </tr> <tr> <td>61歳以上</td> <td style="text-align: center;">14人</td> <td style="text-align: center;">35人</td> </tr> </table>	251人(男157人 女94人)			～10歳	65人	7人	～20歳	48人	14人	～30歳	15人	7人	～40歳	2人	4人	～50歳	5人	17人	～60歳	8人	10人	61歳以上	14人	35人	野球・サッカー・バレーボ ール・バドミントン・なわ とび・健康体操・バスケッ トボール・空手・ベタンク・ ダーツ(休会中)
251人(男157人 女94人)																										
～10歳	65人	7人																								
～20歳	48人	14人																								
～30歳	15人	7人																								
～40歳	2人	4人																								
～50歳	5人	17人																								
～60歳	8人	10人																								
61歳以上	14人	35人																								

9 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
全日本軟式野球連盟審判員2級	1人
日本サッカー協会C級コーチ	2人
日本サッカー協会D級コーチ	4人
日本サッカー協会3級審判員	2人
日本サッカー協会4級審判員	3人
兵庫県バレーボール連盟B級審判員	6人
日本バドミントン協会公認3級審判員	2人
国際なわとび競技連盟 国際審判員	2人
国際なわとび競技連盟公認審判員	4人

10 実施した事業内容

実施事業名	ねらい等	開催回数 日 数	対象者	参加 人 数	開 催 施 設
三世交代 交流スポーツ 大会	高齢者から子どもまでが楽しめるスポーツで多世代の交流と親睦を図り、地域でのスポーツ活動への参加機会の創設と啓発を図る。	平成27年11月7日 クオリティ大会	会員 地域住民	48人	小学校 体育館
オープン スクール	スポーツ活動に誰もが気軽に参加し、身体を動かすことの楽しさを見つけ、スポーツを通じたコミュニケーションを通して地域の活性化を図る。	平成27年7月日 盆踊り講習会	小学生 地域住民	80人	体育館
		平成27年9月5日 新体力測定	会員 地域住民	39人	体育館
		平成27年10月3日 ベタンク講習会	会員 地域住民	22人	運動場
		平成27年12月5日 空手体験教室	会員 地域住民	9人	体育館
		平成28年2月6日 親子でキャッチボール	会員 地域住民	15人	運動場
		平成28年3月5日 親子でバレーボール	会員 地域住民	17人	体育館
		専門部活 動	各種目別の各専門部のスポーツ活動を定期的に行い、専門知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。各種の大会等に参加する。	野球 2・4土、日	小学生
サッカー1・3・5土、日	小学生			88人	運動場
バドミントン 日	地域住民			18人	体育館
バレーボール火・木・土	成人			18人	体育館
なわとび 火・木	地域住民			36人	体育館
健康体操(ヘルス) 水	成人			13人	体育館
バスケットボール木・土	成人			11人	体育館
空手 月	地域住民			18人	体育館
ダーツ(休会中)	成人			8人	
ベタンク	成人			8人	運動場
スポーツ 教室の開 催	初めてのスポーツに取り組みたい人を対象とした初心者教室	初めての方のための バドミントン教室 (計4回)	地域住民	16人	体育館

	を開催した。(芦屋市バドミントン協会と共催)	平成27年11月28日 12月5日・12日・19日			
	空手教室を開催	平成27年12月2日・5日・9日・12日・16日	地域住民	11人	体育館
コミスク 活動への 協賛	スポーツクラブ21精道の母体となる精道コミスクの事業に協賛・参加し、スポーツクラブの広報、啓発を図る。	平成27年7月26日 夏祭り	地域住民	1000人	運動場
		平成28年3月19日 精道フェスティバル	地域住民	400人	体育館
広報活動	年2回スポーツクラブ21精道の広報誌を作成し、精道小学校校区内の全家庭に配布し、スポーツクラブの周知を図る。	平成27年7月 平成28年3月	地域住民	約5500 世帯	

11 その他

スポーツクラブ21の愛称「ブルーバイン」
スポーツクラブ21のマスコット



(名前) 福ちゃん

収支決算書(平成27年度)

1 収入の部 クラブ名(浜風スポーツクラブ21)

科 目	決 算 額	摘 要
基 金	(1,617,890 円) 1,617,890 円	前年度繰越金
自 主 財 源	(475,107) 475,107	前年度繰越金
会 費	(40,000) 37,800	200円×189人
傷 害 保 険	(0) 0	
利 息	(500) 353	①基金通帳(138) ②クラブ通帳(134) ③自主財源(81)
計	(2,133,497) 2,131,150	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
運営拠点整備費	(200,000 円) 129,276 円	物置 他
運 営 費	(200,000) 71,222	交流会、プール開放、ラジオ体操、どんど焼き 試合参加費補助(市の基準に準ずる)
備 品 費	(350,000) 3,490	ヨガマット
諸 謝 金	(50,000) 20,000	グランドゴルフ、護身術、プール監視員
事務管理費	(50,000) 2,163	事務用品、振込手数料
消耗品費	(50,000) 5,018	キッチン用品(タオル ふきん 洗剤など)
印刷製本費	(200,000) 101,632	広報紙、用紙代、トナー、インク代
	()	
自 主 財 源	(515,607) 513,260	自主財源積立金(次期繰越金)
基 金	(517,890) 1,285,089	基金積立金(次期繰越金)
計	(2,133,497) 2,131,150	次期繰越金合計 1,798,349円

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。
・申請内容を上段に()書き、実績を下段に記入する。

浜風
S C 2 1

平成28年度 予算書・事業計画書

- 1.平成28年度予算書（9クラブ分）
- 2.平成28年度事業計画書（9クラブ分）

三条 S C 2 1

別記(準用)

クラブ名:三条スポーツクラブ21

収支予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 収入の部

(円)

科目	予算額	摘要
助成金	1,920,458	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 1,920,458円)
クラブ積立金	540,626	※自主財源
会費	50,000	※自主財源
雑収入	1,000	※自主財源
利息	500	※自主財源 (基金通帳利息、クラブ通帳利息)
計	2,512,584	(左金額内の自主財源額 592,126円)

2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	150,000	管理備品費等
スポーツ用品購入費	200,000	ラインパウダー、スポーツ用品等
運営費	540,000	ラジオ体操、夏の夜のつどい、運動会等 ※自主財源(40,000円)を含む
管理費	50,000	クラブハウス電気代
事務・消耗品費	100,000	コミスク便り用紙代、インク代等
分担金	1,000	スポーツ21連絡協議会年会費 ※自主財源
傷害保険料	20,000	※自主財源
基金	920,458	
クラブ積立金	531,126	※自主財源
計	2,512,584	

事業計画書

- 1 指定小学校区 芦屋市三条コミュニティスクール地域（旧芦屋市立三条小学校区）約 3,700 世帯
- 2 活動拠点クラブハウス設置場所 芦屋市立山手学校第 2グラウンド内(旧三条小学校敷地)
- 3 スポーツ活動を行う施設とその概要 芦屋市立山手中学校第 2グラウンド・第 2 体育館
- 4 上記以外の他の連携した施設名 芦屋市立山手中学校第 1グラウンド、芦屋市立三条地区集会所
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営委組織図

運営委員長	1名	} 推進委員会	} 運営委員会	} 総会
推進委員長	2名			
推進副委員長	2名			
庶務(会計)	3名			
推進委員	35名			
会計監査	2名			
相談役	2名			
事務局	1名			
運営委員	100名			
会員	550名			

- 6 クラブ設立年月日
 昭和 53 年 9 月 三条コミュニティスクール発足
 平成 13 年 3 月 スポーツクラブ 21 設立

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	使用会場名	備考
100名	芦屋市役所三条分室 三条コスプレイルーム	運営委員会
45名	山手中学校第2グラウンド内 三条スポーツクラブ21クラブハウス	推進委員会
年間事業計画、ニュースポーツ普及企画、予算、スポーツ保険推進、会員募集、実行委員会 施設利用日程調整		

8 クラブ名等

クラブ名	会員数(性別・年齢構成)			種目
	550人	男 290 (人)	女 260(人)	
三条スポーツクラブ21	～10歳	115	70	・少年野球・少年サッカー
	～20歳	55	20	・バレーボール・健康体操
	～30歳	10	10	・卓球・硬式テニス
	～40歳	30	35	・ウォーキング
	～50歳	20	35	・ラジオ体操
	～60歳	20	20	・ニュースポーツ
	61歳以上	45	70	・民謡踊り

- 9 配置予定の指導者の資格名と資格別人数
- スポーツ推進委員(日本体育協会スポーツリーダー、体力測定判定員等) 2名、兵庫県軟式少年野球審判員 6名、スポーツ指導員(健康体操)・中学校保健体育教諭資格 1名、サッカー指導員 C級 1名・D級 4名・審判員 4級 10名

10 実施予定事業内容

実施事業名	ねらい等	回数、日数	対象者	参加人数	開催施設
少年サッカー	定期的練習 及び スポーツの普及 (生涯スポーツの普及)	毎週 日曜日	三条スポーツ クラブ21会員	70名	第2グラウンド
少年野球		毎週 土・日		50名	第2グラウンド
卓球		毎週 土曜日		40名	第2体育館
健康体操		月3回 水曜日		40名	三条地区集会所
硬式テニス		毎週 日曜日		30名	第2グラウンド
バレーボール		毎週 土曜日		20名	第2体育館
アジャタ(100球玉入れ)	ニュースポーツ普及	6月に予定	三条スポーツ クラブ 21 会員 及び 地域住民	50名	第2体育館
ラジオ体操	地域交流 異世代交流	夏休みに実施		1日平均 120名	地域内4会場
民謡踊り		4・5月 3回 7・8月 2回		50名	三条地区集会所
第37回運動会		11月3日		400名	第2グラウンド
ウォーキング		1月1日		30名	地域内
広報紙発行		広報活動		年6回	地域全域配布

S C 2 1

潮見

別記(準用)

(クラブ名) スポーツクラブ21潮見

収支予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	2,320,618	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 2,320,618 円)
クラブ財源金	1,469,199	※自主財源 (前年度繰越金 1,469,199円)
年会費	85,000	成人 500円×100=50,000 子ども 250円×140=35,000
イベント参加費	30,000	行事参加費用(自主財源)
雑収入	50,000	事業収益金(自主財源)
利息	500	銀行利息(自主財源)基金・クラブ
計	3,955,317	(左金額内の自主財源額 1,634,699 円)

2 支出の部

科目	予算額	摘要
運動拠点整備費	300,000	管理備品費
消耗品費	50,000	事務用品費用・印刷機マスター、トナー代
諸謝金	30,000	講師謝金
事業費	80,000	スポーツ活動・講習会開催費用 (自主財源より40,000円)
雑費	10,000	振込手数料 他
通信運搬費	40,000	会員の連絡・運搬費
会議費	10,000	総会・連絡協議会費用
保険料	20,000	スポーツ傷害保険
基金	1,820,618	平成29年度への繰越金
クラブ積立金	1,594,699	平成29年度への繰越金
計	3,955,317	

事業計画書(28年度)

1. 指定小学校区とその概要(芦屋市立潮見小学校区)

当校区は、兵庫県企業庁が昭和50年代はじめに芦屋浜を埋め立て、開発した「芦屋浜シーサイドタウン」の宮川以西及び南芦屋浜の新興住宅地である。
 高層住宅、中層住宅、低層連続住宅、独立住宅が昭和54年から入居以来関係住民が精力的に活動し、加えて昭和56年にコミュニティ・スクールが設置されスポーツや文化活動を通じて比較的まとまりのある校区である。
 スポーツ活動は団地開設当時から活発で、野球、少年野球、空手等があり、その後コミュニティ・スクールが設置されたこともあり少年サッカー、ミニバスケット、成人サッカー、などが小学校のグラウンドや体育館を中心に活動している。特に、少年野球、少年サッカー、ミニバスケットは芦屋市代表として県大会、近畿大会、全国大会に出場した経歴を有している。
 また、当クラブは、スポーツを通じて「多世代の地域住民が交流を図る」「青少年の健全育成を図る」「心身ともに健康で明るい地域社会を目指す」を理念とし、子どもから大人まで地域住民の親睦を深めるのに大いに貢献している。

2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所(連絡先 [TEL, FAX])

芦屋市立潮見小学校 南校舎 3階 芦屋市潮見町1番2号 電話・FAXは未設置

3. スポーツ活動を行う施設名とその概要

小学校グラウンド及び体育館

4. 上記施設以外の他の連携する施設名

該当なし

5. 運営委員会の構成員とクラブ運営総綱及びクラブ設立年月日

構成員(別紙) 平成13年6月3日(クラブ設立年月日)

6. クラブ育成に向けての年間計画概要(一覧表にて作成)

実施時期	事項	内容等
平成28年5月19日	年次総会	事業、決算報告、新年度事業計画、予算案の審議・役員を選出等
毎月第3火曜日	幹事会	クラブ報告、事業計画等の打合せ
年間2回	広報委員会	広報活動の打合せ
随時開催	事業委員会	各事業の企画立案
平成28年 7月	ラジオ体操	健康維持
平成28年11月	実技研修会	体力向上と健康維持のための講習
平成29年 2月	スポーツ交流会	スポーツ参加意識向上への内容
平成28年 4月 5月	オープンスクール	各クラブで一般参加のスポーツ教室を実施
その他 7月31日 10月16日	ドラゴンボート大会 健康フェスタ	市民交流スポーツ大会への積極的参加

2016年度スポーツクラブ21潮見 運営委員会役員(案)

2016年4月1日～2017年3月31日

役職	氏名	所属	電話 & FAX
会長		和太鼓あしかぜ	
副会長		潮見バトミントン	
//		シーサイド若葉	
会計		潮見スターズ	
//		アップル	
会計監査		スポンジボールテニス	
//		少林寺流錬心館空手	
相談役		潮見小学校PTA	
//		たんぼぼ卓球会	
顧問		潮見小学校	
//		潮見小学校	
総務		潮見バトミントン	
//		潮見バトミントン	
//		シーサイド若葉	
広報		少年サッカー	
//		少年サッカー	
//		少年サッカー	
//		金管バンド	
//		金管バンド	
※芦屋市スポーツ推進委員(コミスクより)			
※芦屋市スポーツ推進委員(スポーツクラブ21より)			
*体育館調整係		潮見フットサル	
*グラウンド調整係		潮見小学校PTA	
*会議室調整係		シーサイド若葉	

7. クラブ会員予定人数(性別、年齢構成)及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	予定する種目
シーサイド若葉	19~65才(男子) 14名	野 球
潮見スターズ 指導者	7~12才(男女) 23名 10名	少年野球
たんぼぼ(卓球)	40~70才(男女) 12名	卓 球
潮見ミニバスケットクラブ 指導者	7~12才(男女) 30名 5名	バスケット
シーサイドバスケット	18~70才(女子) 10名	バスケット
潮見少年サッカークラブ 指導者	5~12才(男子) 18名 5名	サッカー
潮見フットサルクラブ	20~40才(男子) 6名	サッカー
少林寺流練心館空手 指導者	5~60才(男女) (男子) 10名 1名	空 手
潮見バドミントンクラブ	20~70才(男女) 18名	バドミントン
スポンジボールテニスクラブ	20~70才(男女) 22名	スポンジテニス
潮見健康体操倶楽部 金管バンド 指導者	20才以上(女子) 6名 6~12才(男女) 17名 4名	健康体操全般 金管楽器演奏
アップル(Jr.英会話) 指導者	6~12才(男女) 13名 (男女) 3名	英会話と遊び
和太鼓倶楽部 あしかぜ 指導者	40~80才(男女) 19名 (男子) 1名	和太鼓

8. 配置する指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数	指導者の資格名	資格別人数
兵庫県サッカー協会3級審判員	2名	兵庫県家庭婦人公認審判員	1名
兵庫県サッカー協会4級審判員	5名	全日本空手道連盟6段	1名
兵庫県サッカー協会B級審判員	2名	全日本空手道連盟初段	6名
兵庫県サッカー協会C級審判員	3名	教員免許	9名
フットサル審判4級	4名	その他地元有志	数名
全国軟式野球連盟公認審判員	2名		
全国軟式野球連盟審判員A級	6名		

9. 実施を予定する事業内容(事業ごとにそのねらい(対象者、実施回数等を具体的に記入))

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
シーサイド若葉		週1回			
潮見スターズ	毎週1回以上定期的に練習を行い、専門的知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。 各種の大会等に出場し地域の団結心を強める。	週3回	登録者 全員	会員及 びビジ ター	小学校の体 育館・グラン ド
たんぼぼ		週1回			
潮見ミニバスケット		週3回			
シーサイドバスケット		週1回			
潮見少年サッカー		週3回			
潮見フットサル		週1回			
空手クラブ		週2回			
潮見バドミントンクラブ		週2回			
スポンジテニス		週2回			
潮見健康体操倶楽部		週1回			
あつぶる	スポーツと文化的活動も含め、スポーツクラブ推進を図る。	週1回			
金管バンド		週2回			
和太鼓倶楽部あしかぜ		月2回			
地域交流スポーツ大会	年2回 地域全住民を対象として親睦と健康増進	年2回	全住民	300名	グラウンド
各種目別にオープンスクールを開催	会員増強につなげるため	年複数回			

SC21 宮川

平成28年度 会計予算案

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(スポーツクラブ21宮川)

収入の部 [単位:円]

項目	予算額	摘要
前年度繰越金	206,485	
会費	160,000	160名 一人あたり年間1000円
備品・機材貸出料	10,000	
雑収入	20,000	印刷代他
利息	50	
合計	396,535	

支出の部 [単位:円]

項目	予算額	摘要
会費・事務費	20,000	用品代
拠点整備費	20,000	什器・備品・消耗品代
広報誌作成費	10,000	印刷代
夏祭り費	20,000	備品代
スポーツフェスティバル費	100,000	備品代
文化祭費	10,000	備品代
臨時事業費	10,000	特別事業代
対外活動費	10,000	参加活動代
雑費	10,000	
修繕・維持費	160,000	
予備費	28,535	
合計	396,535	

事業計画書

1 指定小学校区とその概要

「芦屋市立宮川小学校区」

芦屋市立宮川小学校は本年で創立87周年を迎える伝統ある小学校である。その故に小学校区内の住民は宮川小学校の卒業生が多く、小学校に対する親しみも強く、また、古くから住んでいる人達が多く地域の連帯感がある。小学校区内の7つの町の自治会町内会も活性化しており、20年以上の歴史を持つコミュニティ・スクールへの参加率も高く各種の活動が活性化している地域である。
地域的に利点があるのは小学校が小学校区の真中にあり、人々が集まりやすい事がある。

2 活動拠点となるクラブハウスの設置場所

「芦屋市立宮川小学校グラウンド南プール棟1階」

宮川小学校グラウンド南プール棟の1階は宮川コミュニティ・スクールのフロアとして使用しているのでその一室を改造して「スポーツクラブ21 宮川」のクラブハウスとして使用する。

3 スポーツ活動を行う施設名とその概要（参考資料添付）

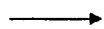
小学校体育館・グラウンド コミスクフロアー

4 上記施設以外の他の連携する施設名

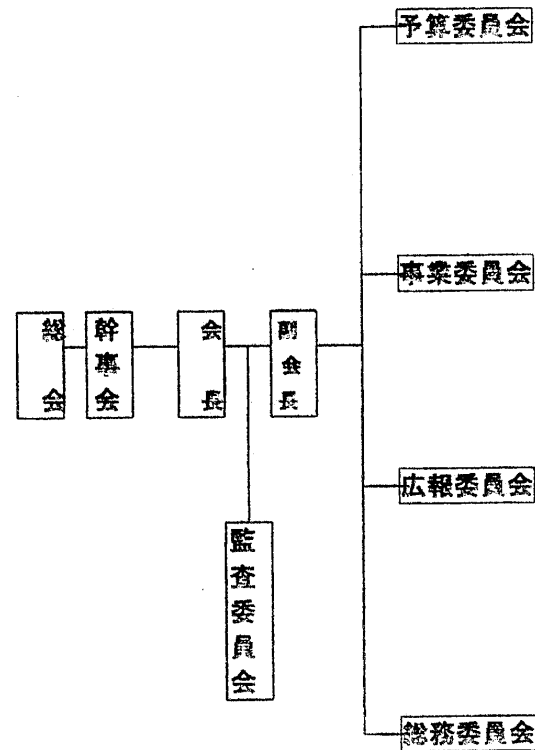
該当なし

5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要

会長	1名
副会長	2名
役員	6名
幹事	8名



スポーツクラブ 21 宮川
幹事会



6 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項	内容
平成28年5月21日	総会	事業報告他総会議事
毎月第3土曜日	幹事会	各クラブ活動の現状把握及び事業立案
適時	役員会議	各種打ち合わせ

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	一回あたり出席者数	開催場所
17名	11回	平均15名	宮川コミスク会議室
事業の企画立案・予算処置・企画実施打ち合わせ			

8 クラブ会員予定人数（性別・年齢構成）及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	予定する種目
宮川少年サッカースクール	57名(小学生 男子57名)	サッカー
宮川ミニバドミントンクラブ	10名(小学生 男子2名女子8名)	バドミントン
宮川バドミントン同好会	8名(15歳以上 男子2名女子6名)	バドミントン
宮川クラブ	10名(成人 女子10名)	バレーボール
ソフトバレーボールクラブ	15名(成人 女子15名)	ソフトバレーボール
宮川少年野球団	20名(小学生 男子20名)	野球
宮川ミニバスケットボール	10名(小学生 男子10名)	バスケットボール
宮川空手道教室	30名(小学生30名)	空手
8団体	160名	

9 配置する指導者の資格名と資格別人数

種目	指導者の資格	資格別人数
サッカー	地域有志	10名
野球	公認審判員	4名
	地域有志	10名
バスケット	公認審判員	1名
	地域有志	4名
バドミントン	日本体育協会・指導員	2名
	公認審判員	3名

10 実施を予定する事業内容

実施事業名	ねらい等	回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
夏祭り	地域活性化	年 1回	地域内 全員	500名	体育館 他
宮川国際スポーツ フェスティバル	4世代・国際 交流	年 1回	地域内 全員	800名	グラウンド
各クラブ活動	専門種目の 個別活動	週 1~2回	各会員	160名	全施設

収支予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 収入の部

(単位: 円)

科目	予算額	摘要
助成金	2,894,437	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 2,894,437 円)
自主財源	4,349,033	※自主財源
会費	150,000	※自主財源 年会費 500 円×300 人
運営拠点維持費	25,000	※自主財源 年 100 円×250 人
参加費	250,000	※自主財源 自主事業参加費
利息	1,030	基金通帳利息 330 円 クラブ通帳利息 700 円
計	7,669,500	(左金額内の自主財源額 4,775,063 円)

2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	100,000	管理備品費
スポーツ用品購入費	250,000	各種スポーツ用品費
報奨費	200,000	指導者謝金・交通費等
運営費	200,000	イベント開催費用
傷害保険料 (役員・指導者)	4,000	
消耗品費	100,000	スポーツ活動消耗品費 事務用品消耗品費等
会議費	10,000	総会・運営委員会等
クラブハウス維持費	25,000	光熱費・電話代等
使用料・賃料	20,000	スポーツ施設・会議費・用品等 使用料
通信運搬費	10,000	会員連絡送料等
印刷製本費	100,000	広報紙・会員証作成費等
基金	1,875,437	
自主財源	4,775,063	
計	7,669,500	

SC21
YAMATE

事業計画書

1. 芦屋市立山手小学校区

当校区は、芦屋市の中央北部に位置するが、2号線沿いから北は奥池まで広範囲の地域で、商業区域、住居区域を擁している。学校は、創立78年になる伝統校である。2000年には三条小学校と統合され、新校舎とともに新生山手小学校としてスタートした。従来、山手地域では、山手コミスクによる秋の運動会などスポーツ活動が恒例行事として活発に行われていたが、阪神淡路大震災以後、住民の減少、さらには校舎立替の時期をはさみ、活動がやや不活発になっていることは否めない。また、住民の高齢化により、急な坂の途上という学校の立地条件もマイナス要因である。これら困難な点も、スポーツによる健康増進や3世代の交流の重要性を考え、住民の熱意でクリアできると信じている。しかし、最近、夜間の体育館使用について、音の問題で地域住民から苦情が出るなど、活動に関して新たな問題が生じている。

2. 活動拠点

芦屋市立山手小学校 西棟3F

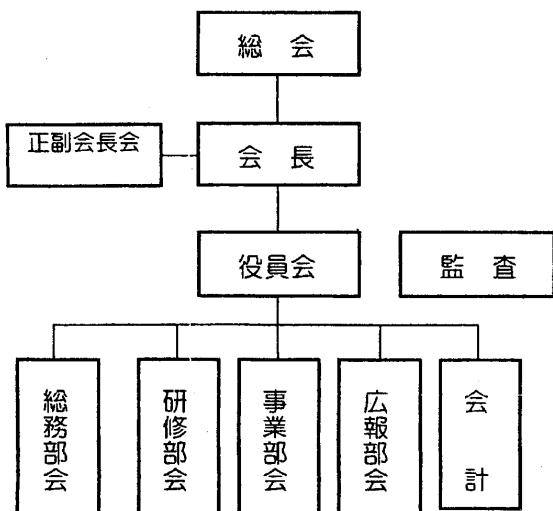
3. 施設名

山手小学校の運動場・体育館・プール など

4. 他の連携する施設名

芦屋市総合運動公園・大原集会所 など

5. 構成員とクラブ運営組織図概要



役 職	人数
会 長	1
副 会 長	1
総務部会長	1
事業部会長	1
研修部会長	1
広報部会長	1
会 計	1
監 査	2

6. クラブ設立年月日 2001年11月26日

7. クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事 項	内 容 等
毎月1回程度	常任委員会	○運営委員会議案等の素案 ○クラブ運営の素案 など
毎月1回程度	運営委員会	○プラン運営の素案 ○実施後の反省 ○年間計画の調整・打ち合わせ ○各クラブ活動報告と調整 ○校区内外行事との調整 など
平成28年4月	スポーツフェスタ	クラブ一堂に会し、紹介及び新会員募集
平成28年5月	オープン教室	○各所属クラブ ○新クラブ、及び既存クラブの会員募集のため
平成28年5月	スポーツ大会	ドッジボール
平成28年7月	水泳講習会	講師を招き、水泳講習
平成28年8月	スポーツ大会	ペタンク
平成28年10月	スポーツ大会	外遊びフェスタその他
年数回程度	研 修 会	研修会の開催

8. クラブ会員予定人数

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	予定する種目
山手・三条サッカークラブ	50人 (男女対象 小学生～)	サッカー
山手スポーツ空手クラブ	50人 (男女対象 幼稚園～)	空 手
山手バスケWEDNESDAY	20人 (男女対象 高校生～)	バスケットボール
山手バスケット曜クラブ	20人 (男女対象 高校生～)	バスケットボール
山手中学生バスケットボールクラブ	20人 (男女対象 中学生～)	バスケットボール
ミニバスケットボール教室	20人 (男女対象 小学生)	バスケットボール
クォーターテニスクラブ	20人 (男女対象 高校生～)	クォーターテニス
卓 球 ク ラ ブ	20人 (男女対象 小学生～)	卓 球
ザリュ! ペタンク	20人 (男女対象 小学生～)	ペタンク
アスリートクラブ	30人 (男女対象 小学生)	陸 上
健康体操クラブ	20人 (成人男女)	健康体操
体操クラブ	40人 (男女対象 小学生)	体操
和太鼓クラブ 山手太鼓 (講師が見つからず休会中)	20人(男女対象 小学生～)	和太鼓

その他、スポーツイベント毎に(水泳講習会、ドッジボール大会など)で入会を促す。

9. 配置する指導者

随時、配置の予定
 既存クラブの有資格者は、報告書に記載したとおりです。
 新クラブを増やす努力をします。
 その際、有資格者を講師に当てます。

10. 実施予定事業

実施事業名	目的 及び 活動回数	対象	人数	開催施設
各クラブ活動	技術、専門知識の向上を図り あわせて相互の親睦を深める。 各種大会に出場し、地域の団結心 を高める。 毎週1回～数回の練習	全登録者	10～ 50人	山手小学校 運動場 体育館 集会所
ニュースポーツ 大会	年2回程度 普及と親睦を図る	地域住民	100人	同上
各クラブ大会	クラブ員以外へのオープン体験	地域住民	200人	同上
指導者研修会	知識・技術の向上を図る	指導者	30人	同上
講演会	知識・技術の向上を図る	地域住民	不特定 多数	山手小学校 集会所

収支予算書（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	162,775円	市推進委員会事務局より （前年度基金残より 162,775円）
自主財源	5,239,475円	前年度繰越金
会費	300,000円	※自主財源 1,000円×300人
雑収入	20,000円	※自主財源 各行事参加費等
利息	1,000円	※自主財源 基金通帳、クラブ通帳
計	5,723,250円	（左金額内の自主財源額 5,560,475円）

2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	100,000円	クラブハウス整備費（基金）50,000（自主）50,000
スポーツ活動費	200,000円	各サークル活動推進費（基金）100,000（自主）100,000
事業費	100,000円	イベント事業等（基金）10,000（自主）90,000
管理費	100,000円	※自主財源 管理備品費
保険費	10,000円	※自主財源 イベント等保険費
会議費	25,000円	※自主財源 総会・運営委員会等
その他経費	50,000円	※自主財源 雑費
自主財源	5,135,475円	
基金	2,775円	
計	5,723,250円	

朝日ヶ丘
SC21

事業計画書
 <朝日ヶ丘スポーツクラブ21>

1、指定小学校区

「朝日ヶ丘小学校」校区

2、活動拠点となるクラブハウス設置場所

芦屋市立朝日ヶ丘小学校 2F 205号室
 住所：芦屋市朝日ヶ丘町 10-10

3、スポーツ活動を行う施設名

朝日ヶ丘小学校 グランド及び体育館

4、上記施設以外の他の連携する施設

朝日ヶ丘幼稚園 遊戯室及び空き教室

5、運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

[総 会]

役員会	人数	運営委員会	人数	所 属
会 長	1名	運営委員長	1名	役員会
副 会 長	2名	運営委員	26名	体育部
総務担当	2名	運営委員	1名	文化部
広報担当	2名	運営委員	1名	PTA
会計担当	2名	運営委員	2名	地 域
監 査 役	2名	合 計	31名	
合 計	11名			

尚、役員会及び運営委員会の開催は年6回(2ヶ月単位)とするが、会長・委員長の養成に応じて随時に臨時委員会を開催できるものとする。

6、クラブ設立年月日

平成14年10月5日 (スポーツクラブ21発足総会)

7、運営委員会等の開催と協議内容

実施時期	事 項	内容等
毎月1回	運営委員会	クラブ運営全般
平成28年4月23日	総会	平成27年度事業及び決算報告 平成28年度事業計画、予算の承認
平成29年3月末日	監査	

8、クラブ名、会員予定数(性別、年齢構成)及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	活 動 種 目
朝日ヶ丘 スポーツクラブ21	253人(男性138人 女性115人)	・サッカー
	～10歳 63人 80人	・野球 ・卓球
	～20歳 30人 11人	・ミニバスケットボール
	～30歳 2人 0人	・ミニテニス
	～40歳 12人 5人	・空手道
	～50歳 9人 9人	・クォーターテニス
	～60歳 5人 5人	・健康体操
61歳以上 17人 68人	・バドミントン ・フラダンス	

9、配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格	資格別人数	指導者の資格	資格別人数
軟式野球連盟審判員	1名	日本体育協会公認スポーツ指導員	1名
JFA公認4級公式審判員資格	7名	日本空手道系洲会範士九段	1名
JFA公認3級公式審判員資格	2名	日本空手道系洲会範士七段	1名
JFA公認C級指導者	1名	日本バスケットボール協会公認コーチ	1名
JFA公認D級指導者	1名	地域スポーツ指導員	1名
JFA公認キッズリーダー	2名	公認新体力測定指導員	1名
芦屋市スポーツリーダー	5名	公認障害者スポーツ指導員(初級)	1名
公式審判員(バドミントン)	1名	地元有志	19名
〃(クォーターテニス)	1名	合計	48名
ジュニアスポーツ指導員	1名		

10、実施を予定する事業内容

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
スポーツ活動 ・サッカー ・野球 ・ミニバスケットボール ・ミニテニス ・空手道 ・卓球 ・クォーターテニス ・バドミントン ・健康体操 ・フラグランス	週1回定期的に練習を行い専門的知識及び技術の習得にあたる	毎週土・日曜日 毎週土・日曜日 毎週火・金・土曜日 毎週火曜日 毎週月・木曜日 毎週土曜日 毎週日・水・土曜日 毎週日曜日 毎週木曜日 毎週火曜日	会員	62人 35人 30人 18人 20人 9人 41人 3人 24人 11人	小学校 グラウンド 体育館 等 幼稚園遊戯室 ゆうゆうクラブ
スポーツ教室 ・野球 ・サッカー ・空手	未経験者や初心者に基礎、基本を学んでもらうことにより、スポーツの楽しさを実感してもらう		会員 地域住民	人 人 人	小学校 グラウンド 体育館 等
クラブ内交流会	会員相互の交流を図るためのスポーツ大会等の開催	各クラブが独自に開催 年1~2回	会員		小学校 グラウンド 体育館 等
イベント ・ふれあい運動会 ・ふれあいDAY ・普通救命講習会 ・もちつき大会	イベントを通して3世代交流を図る	6月4日 5月21日 6月24日 12月4日	会員 地域住民	人 人 人 人	小学校グラウンド 小学校グラウンド 視聴覚室 小学校グラウンド
広報活動	幅広くクラブへの参加をよびかけるため広報紙やチラシの作成配布	年2回	地域住民		

SC21 打出浜

別記(準用)

収支予算書

(クラブ名) スポーツクラブ21打出浜
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 収入の部

科 目	決 算 額	摘 要
補 助 金	0 円	25年度終了の為
前年度繰越金	2,540,805 円	
会 費	250,000 円	年会費1,000円×250人
イベント参加料	100,000 円	ファンラン他
利 息	300 円	預金利息
雑 収 入	30,000 円	物販販売・コミスク共催事業
計	2,921,105 円	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
スポーツ活動費	300,000 円	テント購入・ラインパウダー他
事 業 費	300,000 円	ファンラン他
広報活動費	30,000 円	印刷機インク・印刷用紙
会 議 費	35,000 円	新年互礼会・打合せ等経費他
事務管理費	30,000 円	文具・消耗品他
整 備 費	100,000 円	整備費・備品修繕費
雑 費	3,000 円	振込み料他
次年度繰越金	2,123,105 円	
計	2,921,105 円	

事業計画書

- 1 指定小学校区
芦屋市立打出浜小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所 (連絡先 [TEL, FAX])
芦屋市新浜町 8 番 2 号
- 3 スポーツ活動を行う施設名
打出浜小学校体育館・運動場
- 4 上記施設以外に連携する施設名
兵庫県立海洋体育館・
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要
運営組織図 別途添付
- 6 設立年月日
平成 14 年 10 月 26 日
- 7 クラブ育成に向けての年間計画概要

委員委嘱数	使用会場名	備 考
幹事会 事務局会議 広報委員会	クラブハウス・体育館・運動場	
(委員会の主な内容) 事業の企画立案、内容、進行等の検討 広報紙の作成		

8 クラブ名、会員予定人数 (性別、年齢構成) 及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数 (性別、年齢構成)	活動種目
スポーツクラブ21 打出浜 (クラブ数14)	250 人 (男性 180人 女性 70人) ~10歳 90 10 ~20歳 40 15 ~30歳 0 0 ~40歳 9 0 ~50歳 15 8 ~60歳 10 20 61歳~ 16 17	・野球・少年サッカー ・成人サッカー・剣道 ・ソフトバレー・空手 ・卓球・バレーボール ・ミニバドミントン ・バドミントン ・ミニバスケット ・カヌー・健康体操 ・クオーターテニス

9 配置する指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
公認資格者	34 人
地元有志	20 人

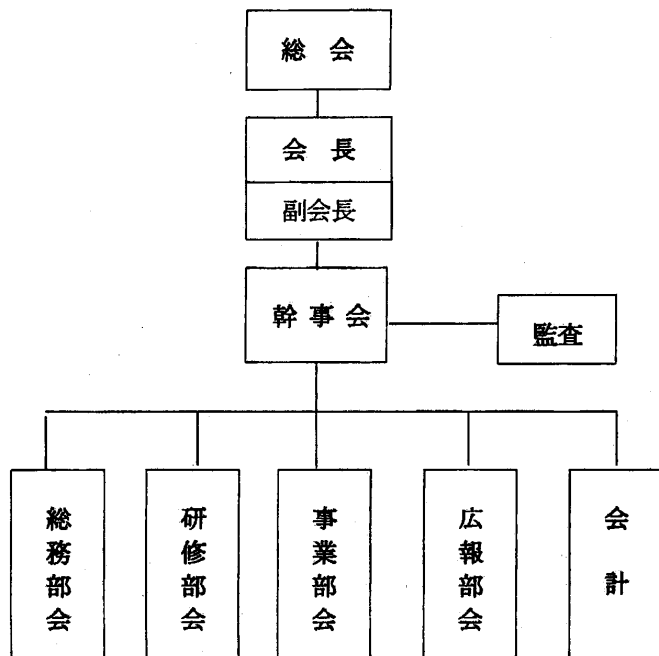
10 実施を予定する事業

(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
総会	役員決定 年間行事決定 予算決定	H28年5月14日	運営委員 新・旧	60名 新・旧	クラブハウス
幹事会	活動企画の承認・事業企画立案	毎月1回	運営委員	35名	クラブハウス
各クラブ活動	週1回以上練習等実施、スポーツの特性を学び技術の向上を図る	毎月の施設使用申請書にもとづく	登録者	250名	運動場 体育館 クラブハウス

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
護身術講習会	アクシデントに対する基礎知識の体得	H28年6月中旬予定	登録者他	25~30名	視聴覚室 体育館
芦屋ドラゴンボートレースに参加	違うスポーツを通じて団結力を養う	H28年7月31日	小学生クラブチーム	20人	芦屋キャナルパーク
打出浜コミスク夏まつり共催	スポーツに親しみを持とう出店 フリースローゲーム	H28年8月下旬予定	地域住民	240名	体育館
市民スポーツフェスタに参加(推進委員会主催)	スポーツに親しみをの企画に参加	H28年10月中旬予定	空手クラブ	20人	ペDESTリアンデッキ
打出浜ファンラン2016	地域住民が持続的にスポーツに関わるきっかけ作り	H28年11月下旬予定	地域住民	200名	運動場~芦屋市マラソンコース
コミスク三世代交流 クロリティ大会に共催	地域住民三世代が、ニュースポーツを通して交流を図る	H29年1月中旬予定	地域住民	約120名	体育館
新年互例会	各クラブと地域役員の親睦会	H29年1月中旬予定	指導者・幹事・自治会役員	35人	家族レストランおとわ
スポーツ・コミスク活動展	各クラブ活動を紙面に展示紹介	H29年2月上旬2日間予定	各クラブ	14登録団体	体育館・通路の壁
救急救命講習会	アクシデントに対する基礎知識の体得	H29年2月中旬予定	登録者	20名	視聴覚室

5. スポーツクラブ21打出浜 運営組織図



平成28年度 役員名簿

役職	氏名	住所	電話	所属
会長				芦屋市カヌークラブ
副会長				打出浜FC
副会長				打出浜小学校教頭
会計				卓球
会計				剣道
総務部部长				健康体操
広報部部长				打出浜FC
研修部部长				バドミントン
事業部部长				健康体操
監査				前会計
監査				元会計

収支予算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

岩園

SC21

1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	5,533,134円	市推進委員会事務局より 前年度基金残
自主財源積立金	4,007,836円	前年度積立金残
会費	190,000円	年会費：@200円×500人 活動拠点維持費：@300円×300人
雑収入	100,000円	講座参加費・広報広告料・印刷機使用料等
銀行利息	0円	
計	9,830,970円	(左欄金額内の自主財源額 4,007,836円)

2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	1,000,000円	管理整備費
スポーツ用品 購入・修理費	500,000円	各種スポーツ用品費・修理費
事業費	230,000円	スポーツ大会、講師謝金等
運営費	50,000円	事務・会議費・通信費・研修費等
広報活動費	70,000円	広報紙発行(6000部/1回)を 年2回発行、記録写真等
基金	7,980,970円	基金積立・自主財源積立
計	9,830,970円	(左欄金額内の自主財源額 4,007,836円)

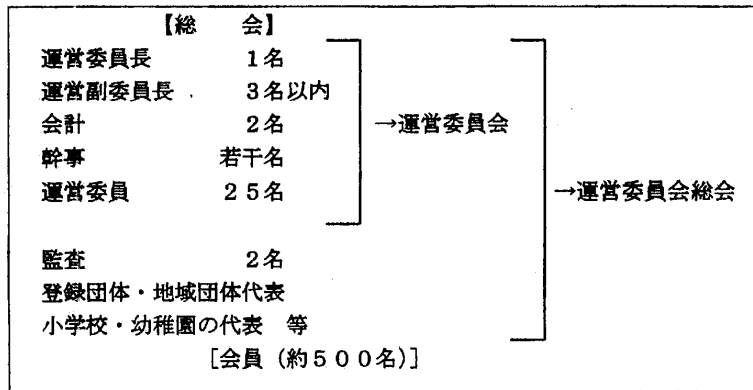
(注) 収支の計は、それぞれ一致する。

付記 専門種目の定例サークル活動参加者は、上記の『会費』の他に、サークル毎に規定の会費(スポーツ保険費用を含む)を納め、それによりサークル活動は、自主運営されます。その会費は、サークル内責任者によって管理されます。

岩園スポーツクラブ 21

事業計画書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

- 指定小学校区 芦屋市立岩園小学校区
- 活動拠点となるクラブハウス設置場所
芦屋市立岩園小学校内 岩園コミュニティ・スクール事務室
[住 所] 芦屋市岩園町23-41
- スポーツ活動を行う施設名とその概要 (参考資料添付)
芦屋市立岩園小学校 グランド 及び 体育館
- 上記以外の他の連携する施設名
芦屋市立岩園幼稚園 ←建て替えのため H29 年春開園まで使用不可
- 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要



- クラブ設立年月日 平成14年11月21日

7 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項・内容等	
毎月1回程度	運営委員会	クラブ運営全般
平成28年4月21日	運営委員会総会	平成27年度事業及び決算報告 平成28年度事業計画、予算案の 審議・承認、役員の選出 等
平成29年4月1日	監査	会計監査

8 クラブ会員予定人数 (年齢構成) 及び 予定する種目

クラブ名	クラブ会員数	予定する種目
岩園スポーツクラブ21	0才～10才 (200名)	テニス・健康体操・剣道
	11才～20才 (60名)	卓球・空手・サッカー
	21才～30才 (10名)	少年少女野球・婦人バレ ー・バスケット・ミニバ
	31才～40才 (30名)	スケット・クォーターテ ニス・日舞・囲碁・(水泳)
	41才～50才 (50名)	
	51才～60才 (50名)	
	61才以上 (100名)	

9 配置する指導者の資格と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
日本体育協会公認A級指導員	1名
日本体操協会公認体操マスター指導員	1名
公認体力テスト判定員	1名
芦屋市スポーツリーダー	1名
剣道範士 八段	1名
剣道教士 七段	1名
剣道錬士 七段	2名
全日本空手道 松剛館公認指導員	3名
日本サッカー協会公認C級指導員	3名
兵庫県サッカー協会3級審判員	3名
兵庫県サッカー協会4級審判員	3名
兵庫県家庭婦人バレーボール認定審判員	6名
日本体育協会公認B級指導員 (バレーボール)	1名

JBA 公認 E-1 級	2 名
地元有志	20 名

10 実施を予定する事業内容

専門種目のサークル活動	開催回数・活動日	対象者	参加人数	開催施設
テニス	週1回(日)	会員	31名	グラウンド
健康体操	週1回(水)	会員	20名	ミーティング室
剣道	週3回(日・月・木)	会員	29名	体育館
卓球	週1回(土)	会員	18名	体育館
空手	週1回(金)	会員	28名	体育館
サッカー	週4回 (日・火・木・土)	会員	78名	グラウンド
少年・少女野球	週1回(土)	会員	47名	グラウンド
婦人バレーボール	週2回(土)	会員	10名	体育館
バスケット	週1回(日)	会員	25名	体育館
ミニバスケット	週4回 (火・金・土)	会員	45名	体育館
クォーターテニス	週3回(水・土)	会員	26名	体育館
日舞	月1回(第4火)	会員	10名	和室
囲碁	週1回(木)	会員	16名	ミーティング室

○上記種目のサークルは、週1～3回、定期的な練習を行い専門的知識及び技術の習得に当たっています。

○参加人数は、参考人数として前年度最初の登録人数を記載。

今年度は、現在募集中です。

○子ども育成のための指導者・世話役等も含まれています。

実施事業名	ねらい等	開催回数・日時	対象者	参加人数	開催施設
オープン・スクール	専門種目の一日体験入門講座	上記の各サークルが年1～2回開催	地域住民	延べ100名程度	グラウンド、体育館、和室、ミーティング室

救急蘇生法講習会		平成28年6月下旬	会員 地域住民	40名	クラブハウス
夏休みプール開放	児童を対象とした水泳教室	平成28年7月下旬 (3日間)	小学生会員	1日当たり100名	岩小プール
秋祭り	○地域交流事業の中でSC21活動のPR ○スポーツサークルの発表&体験コーナー	平成28年10月23日	会員 地域住民	1,000名	グラウンド
多世代交流スポーツ大会	会員相互の交流を図るためのスポーツ大会	平成28年12月上旬	会員	100名	体育館 又は グラウンド
ふれあい広場 いわぞの活動展	「岩園SC21」活動の発表と啓蒙	平成29年1月下旬	会員 地域住民		校舎2F ラウンジ
体力測定	活動展開催時にニュースポーツ体験コーナーを設ける	平成29年1月下旬	会員 地域住民		校舎2F ラウンジ
1.17は忘れない地域防災訓練	地域の自主防災会と連携しての防災訓練	平成29年2月11日	地域住民		校区及び 岩小
クリーン作戦	いつも使用している学校施設を一斉清掃	平成29年2月25日	会員 地域住民	200名	体育館棟及び校舎開放ゾーン等
広報活動	幅広くクラブへの参加を呼びかけるため広報紙や行事案内チラシ・ポスター作成 配付・掲示	○広報紙は7月と3月に地域全世帯に配付。 ○チラシ・ポスターは必要に応じ配付・掲示	地域内 全世帯		

この他に

○ニーズにあわせ、研修会・各種講座等を開催

上記のすべての事業推進にあたり

◎『定例運営委員会』（毎月1回）の他に、各事業実施に伴う企画・準備会を開いています。

S C 2 1 精道

別記(準用)

(クラブ名)スポーツクラブ21精道

収支予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	4,662,369円	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 4,662,369円)
クラブ財源金	1,862,845円	※自主財源 前年度繰越金
年会費	60,000円	※自主財源 200円×300人分
活動費	30,000円	※自主財源 事業参加費
使用料	100,000円	※自主財源 印刷機使用料
雑収入	5,000円	※自主財源 預金利息等
計	6,720,214円	(左金額内の自主財源額 2,057,845円)

2 支出の部

科目	予算額	摘要
拠点整備費	100,000円	*自主財源 0円 施設整備費
運営費	320,000円	*自主財源 20,000円 3世代交流スポーツ大会、オープンスクール等
備品費	300,000円	*自主財源 0円 備品購入費
諸謝金	300,000円	*自主財源 0円 講師謝金等
事務管理費	170,000円	*自主財源 20,000円 会議費等
消耗品費	110,000円	*自主財源 10,000円 消耗品費
印刷製本費	150,000円	*自主財源 0円 広報誌等印刷費
自主財源	2,007,845円	次年度繰越金
基金	3,282,369円	次年度繰越金
計	6,720,214円	

事業計画書

- 指定小学校区
精道小学校区
- 活動拠点となるクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL, FAX〕）
芦屋市精道町8-25 芦屋市立精道小学校内
精道コミュニティスクール・スポーツクラブ21事務室
- スポーツ活動を行う施設名
精道小学校 グランド・体育館・ランチルーム
- 上記施設以外に連携する施設名
なし
- 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図
スポーツクラブ21精道

会長	1人	登録団体	
副会長	1人	団体	10
庶務	1人		(290人)
会計	2人	個人会員	
理事	若干名		(10人)
監事	2人		
(役員会)		(代議員総会)	

300人(28年度会員)

- クラブ設立年月日
平成15年11月6日 (設立総会 平成16年1月31日)

- 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	使用会場名	備考
13人	精道小学校内コミスク・スポーツクラブ21事務室	
(委員会の主な内容) ・平成28年度実施事業の内容検討(オープンスクール・三世代交流スポーツ大会・その他) ・スポーツクラブ21精道の運営方針の検討 ・平成28年度総会準備		

- クラブ名、会員数(性別、年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	活動種目
スポーツクラブ21精道 (愛称:ブルーパイン)	会員数300人(男175人・女125人) 小学生以下 150人 中高年生 20人 成人 130人	野球・サッカー・バレーボール・バドミントン・なわとび・健康体操・バスケ・トボール・空手・バタンク・ダーツ(活動休止)

- 配置予定の指導者の資格名と資格別人数 ※できるだけ詳しく記入する。

指導者の資格名	資格別人数
全日本軟式野球連盟審判員2級	1人
日本サッカー協会C級コーチ	2人
日本サッカー協会D級コーチ	4人
日本サッカー協会3級審判員	2人
日本サッカー協会4級審判員	3人
兵庫県バレーボール連盟B級審判員	6人
日本バドミントン協会公認3級審判員	2人
国際なわとび競技連盟 国際審判員	2人
国際なわとび競技連盟公認審判員	4人

- 実施する事業内容(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
三世代交流スポーツ大会の実施	高齢者から子どもまでが楽しめるスポーツで多世代の交流と親睦を図り、地域でのスポーツ活動への参加機会の創設と啓発を図る。	年1回	会員 地域住民	48人	体育館
オープンスクールの実施	スポーツ活動に誰もが気軽に参加し、身体を動かすことの楽しみを見つけ、スポーツを通じたコミュニケーションを通して地域の活性化を図る。	年5回	会員 地域住民	1回30人	体育館 運動場
専門部活動の実施	各種目別の各専門部のスポーツ活動を定期的に行い、専門知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。各種の大会等に参加する。	毎日(活動日)	会員	290人	体育館 運動場
スポーツ教室の開催	初めてのスポーツに取り組みたい人を対象とした初心者教室を開催する。	年1回	地域住民	20人	体育館
コミスク活動への参加	スポーツクラブ21精道の母体となる精道コミスクの事業に協賛・参加し、スポーツクラブの広報、啓発を図る。	年2回 夏祭り・精道フェスティバル	地域住民	1,000人	運動場 体育館
広報活動	年2回スポーツクラブ21精道の広報誌を作成し、精道小学校校区内の全家庭に配布し、スポーツクラブの周知を図る。		地域住民	5,500世帯	

浜風

SC21

別記

クラブ名 浜風スポーツクラブ21

平成28年度予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 収入の部

科目	予算額	摘要
基金	1,285,089円	前年度繰越金
自主財源	513,260	前年度繰越金
会費	40,000	年会費200円×200人
傷害保険料	0	
利息	400	基金通帳・自主財源通帳
計	1,838,749	基金額 1,285,089円 自主財源額 553,660円

2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点(クラブハウス)整備費	200,000円	クラブハウス整備・修繕
消耗品費	50,000	消耗品
諸謝金	50,000	護身術、体育教室など指導者謝金
事務管理費	50,000	事務用品、通信費、振込み手数料など
クラブハウス維持費	0	光熱水費、電話代等
運営費	200,000	地域交流事業など運営経費、会議費、会費、
備品費	350,000	各種スポーツ用具購入など
印刷製本費	200,000	広報誌、用紙、トナー、マスター、インク代等
基金	185,089	次年度繰越金
自主財源	553,660	次年度繰越金
計	1,838,749	

平成28度事業計画書

1. 指定小学校区
芦屋市立浜風小学校区
2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所
芦屋市浜風町1-1 浜風市立浜風小学校体育館の北側の部屋
3. スポーツ活動を行う施設名
浜風小学校グラウンド・体育館・会議室・ランチルーム・更衣室
4. 上記施設以外に連携した施設名
芦屋市立青少年センター体育館・川西グラウンド・新浜公園
5. 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

総会		
会長	1名	
副会長	3名	
会計	2名	理事会
理事	若干名	
監事	若干名	

6. クラブ設立年月日
平成15年12月18日
7. 運営委員会などの開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	1回あたりの出席者数	開催場所	備考
25	12回	20人	会議室	理事会
会員募集、事業計画、会計、施設使用調整、購入備品、保険について検討 クラブ間、地域団体との情報交換、連絡調整など スポーツイベントなどの企画				

8. クラブ名、会員数及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数	活動種目
浜風スポーツクラブ21	200人(男性 122人, 女性 78人)	少年少女野球、ゲートボール
	~10歳 43 12	成人ソフトボール、空手、気功
	~20歳 16 9	カローリング、フットサル、
	~30歳 9 3	ママさんバレーボール、
	~40歳 15 11	少年少女サッカー
	~50歳 20 12	スポンジボールテニス
	~60歳 6 16	ミニバスケットボール
	61歳~ 13 15	

9. 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
サッカーC級ライセンス	1
サッカー審判4級	7
フットサル審判3級	2
兵庫県ソフトボール協会指導員	1
少林寺流空手道連盟錬心士6段教士	1
同 2段指導員	1
剛心流空手道松剛館指導室2段	2
同 4段	1
日本健身気功協会指導員	1
県公認バレーボール審判	4
地域指導員	30

10. 実施予定事業内容

実施事業名	開催回数・日数	ねらいなど	対象者	参加者数	開催場所
各クラブ活動	週1~4日	スポーツ活動	会員	200	グラウンド、体育館
プール開放	7月21・22日	地域交流	地域住民	延べ600	プール
ラジオ体操	7月21~31日	健康増進	地域住民	延べ1000	グラウンド
空手道護身術講習会	10月予定	護身術体験	地域住民	60	体育館
交流スポーツ大会	4月23日	ウォークラリー 風船バレー 公式ワナゲ 他	地域住民	300	グラウンド・体育館
芦屋浜夏祭り参加	7月30日	地域交流	地域住民	-	中央公園
広報誌発行	年2回	広報活動	地域住民	3300	全戸配布
地域防災訓練協力	未定	地域交流・防災	地域住民	500	グラウンド
浜風小学校清掃	9月予定	清掃	会員	120	浜風小学校
各種体験教室	随時	体験	地域住民		グラウンド、体育館

地域スポーツクラブ資金状況報告書

事務局名 スポーツクラブ21ひょうご
芦屋市推進委員会事務局

(平成28年3月31日現在)

設立年度	クラブ名	基金残高	会費・利子等残高	残高計
H12	三条スポーツクラブ21	1,920,458	540,626	2,461,084
H13	スポーツクラブ21潮見	2,320,618	1,469,199	3,789,817
H13	スポーツクラブ21宮川	0	206,485	206,485
H13	スポーツクラブ21YAMATE	2,894,437	4,349,033	7,243,470
H14	朝日ヶ丘スポーツクラブ21	162,775	5,239,475	5,402,250
H14	スポーツクラブ21打出浜	0	2,540,805	2,540,805
H14	岩園スポーツクラブ21	5,533,134	4,007,836	9,540,970
H15	スポーツクラブ21精道	4,662,369	1,862,845	6,525,214
H15	浜風スポーツクラブ21	1,285,089	513,260	1,798,349
合 計		18,778,880	20,729,564	39,508,444

(注) 基金残額は、基金報告書の額と一致する。

※ 設立当初と名称を変更している場合は、新スポーツクラブ名(旧スポーツクラブ名)と併記する。

兵庫県教育委員会 様

住 所 芦屋市川西町1-5-3
団体名「スポーツ
ひょうご」芦屋市推進
代表者名 木野

基金報告書

地域スポーツ活動支援事業にかかる「スポーツクラブ21ひょうご」運営等基金の状況を補助事業実施要項第18の規定により下記のとおり報告します。

記

スポーツクラブ名称	前年度末基金残額	本年度基金取崩し額	本年度末基金残額	備考
三条スポーツクラブ21	2,203,791	283,333	1,920,458	H12
スポーツクラブ21潮見	2,655,784	335,166	2,320,618	H13
スポーツクラブ21宮川	0	0	0	H13
スポーツクラブ21YAMATE	3,361,855	467,418	2,894,437	H13
朝日ヶ丘スポーツクラブ21	275,463	112,688	162,775	H14
スポーツクラブ21打出浜	0	0	0	H14
岩園スポーツクラブ21	5,756,968	223,834	5,533,134	H14
スポーツクラブ21精道	4,971,082	308,713	4,662,369	H15
浜風スポーツクラブ21	1,617,890	332,801	1,285,089	H15
合 計	20,842,833	2,063,953	18,778,880	

※ 設立当初と名称を変更している場合は、新スポーツクラブ名(旧スポーツクラブ名)を併記する。

三条スポーツクラブ21

普通預金				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
27.05.22	繰越			***2,203,791
27.06.04		1,000,000		** **1,203,791
27.08.10	決算利息 (2.9から8.9)		133	***1,203,924
28.02.15	決算利息 (8.10から2.14)		106	***1,204,030
28.03.31	A T M		500,000	***1,704,030
28.03.31	A T M		216,428	***1,920,458

スポーツクラブ21YAMATE

普通預金				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
27.05.22	繰越			***3,361,855
27.06.18		1,042,000		** **2,319,855
27.08.10	決算利息 (2.9から8.9)		235	***2,320,090
28.02.15	決算利息 (8.10から2.14)		204	***2,320,294
28.03.29			574,143	***2,894,437

スポーツクラブ21潮見

普通預金				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
27.05.22	繰越			***2,655,784
27.06.30		510,000		** **2,145,784
27.08.10	決算利息 (2.9から8.9)		197	***2,145,981
28.02.15	決算利息 (8.10から2.14)		189	***2,146,170
28.03.31	A T M		174,448	***2,320,618

朝日ヶ丘スポーツクラブ21

普通預金				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
28.06.01	繰越			****25,463
27.08.10	決算利息 (2.9から8.9)		12	****25,475
28.02.15	決算利息 (8.10から2.14)		2	****25,477
28.03.24	お振込 アヒカカスル-アツアツニシ		137,298	****162,775

岩園スポーツクラブ21

浜風スポーツクラブ21

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
27.05.22	繰越			***5,756,968
27.06.09		1,860,000		***3,896,968
27.08.10	決算利息 (2.9から8.9)		470	***3,897,438
28.02.15	決算利息 (8.10から2.14)		403	***3,897,841
28.03.22			1,635,293	***5,533,134

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
27.05.22	繰越			***1,617,890
27.06.16			1,100,000 (86)	***517,890
27.08.10	決算利息 (2.9から8.9)		93	***517,983
28.02.15	決算利息 (8.10から2.14)		45	***518,028
28.03.28	お振込 ハマカセスポーツクラブ21		767,061	***1,285,089

スポーツクラブ21精道

普通預金

年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
27.05.22	繰越			***4,971,082
27.06.02		1,400,000		***3,571,082
27.08.10	決算利息 (2.9から8.9)		321	***3,571,403
28.02.15	決算利息 (8.10から2.14)		313	***3,571,716
28.03.29			1,090,653	***4,662,369

「スポーツクラブ21ひょうご」

クラブ育成チェック表一覧・運営上の課題・悩みや将来の構想等

運営上の課題・悩みや将来の構想等

平成28年8月作成

三条スポーツクラブ21	スポーツクラブ21潮見	岩園スポーツクラブ21
平成28年度	平成28年度	平成28年度
<p>会員数の伸び悩み、会費の改正が考えられる。</p>	<p>現在のところクラブ運営は順調のようだが、次世代へ繋いでいく為の準備がしばらくはかかるところである。</p>	<p>学童保育に加え、次年度から始まるキッズスクエアとも施設使用の調整をしていかなければならないが、そのために現在のスポーツクラブ21の活動を縮小せざるを得ない状況にはならないようにしたいと願っている。 また、SC21の運営に携わる若い人材確保に苦慮している。</p>
スポーツクラブ21YAMATE	スポーツクラブ21打出浜	スポーツクラブ21精道
平成28年度	平成28年度	平成28年度
<p>皆さんがボランティア、好意による活動のため、後継者がいるか、現状のやり方で続くのが不安。</p>	<p>課題・悩み等はなく、将来の構想においても、後継者を育成できているので、当面の不安はない。</p>	<p>設立当時からの役員が多く、役員の世代交代がうまくいっていない。役員が代わらない中で、活動がマンネリ化し、行事をこなすだけの活動になりがちである。新たな取り組みをするにも、役員は他の仕事を抱えており、企画検討する体制が作れていない。</p>
宮川スポーツクラブ21	朝日ヶ丘スポーツクラブ21	スポーツクラブ21浜風
平成28年度	平成28年度	平成28年度
<p>一昨年のプール棟の新設で施設や設備も充実したことで、登録団体の活動がこれまで以上に活発化し継続できていることは非常に喜ばしいことである。しかしながら施設や設備、使用時間帯や指導者については制約があり、「多様性、多世代、一貫指導」等に関する限界は仕方がないものと受け止めている。今後ともスポーツ活動だけでなく文化活動を含め、地域内での交流をはかっていければと思う。</p>	<p>子どもたちの放課後や休日の過ごし方の変化により、会員が減った。また、クラブが強くなると練習日が増えて、新しく入りたい人のハードルが高くなる。熱心なのは良いがどこまで頑張るのが妥当なのか、悩むところである。芦屋市ではコミスク活動のスポーツ部門がスポーツクラブ21となっているので、スポーツの強化サークルのような位置づけではないと思うが、強くなって他市や他県の強豪チームと対戦するにはそれなりの練習が必要になるので、生涯スポーツとか、多世代との交流などの意識がなくなっていくのではないかと心配する。</p>	<p>設立時に揃えた備品がそろそろ修理、買い替えが必要な時期にさしかかってきた。今後、どれを優先するか予算の分配が課題。</p>

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H28年度

クラブ名		三条スポーツクラブ21													
年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
クラブ会員		766人		750人		550人		465人		430人		450人			
上記会員の内週一回程度の実践者		100人		100人		70人		80人		160人		150人			
当該地域の人口		6,956人		7,703人		8,335人		8,300人		8,326人		8,170人			
加入率		11.00%		9.73%		6.59%		5.60%		5.16%		5.51%			
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価		
多様目	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	中学校施設使用のため利用時間が限定されている。毎週実施4種目	3	少年野球、少年サッカー、硬式テニス、卓球、バレーボール、健康体操	2	こども、中高年対象の種目	3	硬式テニス、卓球のみ	3	少ないが来ている	3	維持できている。	3		
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	ウォーキング・ラジオ体操・民謡おどり等季節の行事を取り入れて入る	4	異世代(多世代)こうりゆうのできる講習会や運動を実施	3	運動会、スポーツ講習会で異世代交流を実施	4	異世代交流を目的とした運動会やニュースポーツ講習会、ラジオ体操を開催	4	運動会、ラジオ体操、公式わなげ等開催している	4	運動会、ラジオ体操、単発講習会等を開催している。	4		
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	誰でも参加できる＝誰でも理解できるを意識している	4	硬式テニス、卓球においては子どもから大人まで対象	2	活動体制はとれていると思う	3	少年野球、少年サッカー、婦人バレーボール等 世代に分かれている	2	一部多世代になっていないクラブもある	2	各クラブにより世代が分かれている。	2		
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	1F体育館、床トイレ、2Fテーブル、椅子、湯沸し室	3	1階体育倉庫の2階を利用。プレハブの老朽化で床が不安定	2	使用に問題はないが、プレハブで老朽化が気になる	2	プレハブ2階建て。1階体育倉庫、2階クラブハウスとして利用。老朽化。	2	クラブハウスはあるが老朽化が著しい	2	利用している。	2		
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	実施各スポーツ部が自主運営・その指導者・役員がクラブ運営	5	スポーツ推進委員。各クラブでは指導者	5	とっている	5	年会費と基金で運営。クラブ内サークルは月会費徴収し、自主運営。	4	来ている。クラブ内サークルは自主運営	4	来ている。	4		
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	スポーツ21として年会費徴収。各スポーツクラブ内部費徴収	4	スポーツクラブ21では年会費。各クラブでは月会費	5	ある程度整っている	4	クラブ内サークル会員は、保険加入、月会費等 整っている。	4	整っている	4	整っている。	4		
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	バレーボール・卓球は中学校と一部用具を共有。指導者交流無し	3	中学校施設利用のため、中学校部活との調整、連携有り	4	連携は図られている	4	中学校施設使用の為、中学校部活との日程調整。	4	中学校施設使用の為、中学校部活との日程調整をしている	4	中学校施設利用のため部活動との日程調整を図っている	5		
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	助成金＋自主財源＋年会費	5	年会費、自主財源、基金の一部	5	会員年会費のみが収入源	4	基金＋21会員年会費の収入。	4	基金と年会費	4	基金と年会費	4		
広報	クラブの情報を積極的に発信している	年6回発行のコミスクだよりでクラブ紹介・行事案内	5	地域広報年6回発行	3	年6回 地域行事案内とともに発行	3	年6回発行のコミスクだよりで情報発信、事業告知。	4	コミスク便りなどで発信している	4	コミスク便りにて発信	4		
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	スポーツ部の交流試合のみ	3	種目クラブ毎に合同練習や交流試合有り	2	サークルごとに他のクラブとの連携・交流有り	3	サークルごとには交流試合等で図られている。	3	サークルによっては交流試合等をしている	3	サークル毎に他クラブとの交流がある。	3		
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	会員証を首からぶらさげ、クラブ行事に参加する人が増えた	4	講習会や運動会の子育て世代、高齢者の参加者が増。常連増	3	高齢者の参加が増えた	4	単発のスポーツ教室や講習会に楽しんで参加してもらえ	5	単発事業に多数の参加者がある	4	多世代に渡り参加者がある。	3		
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	わかりません。	?	不明	1	わからない	2	わからない。	1	わからない	1	わからない。	1		
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	誘い合わせての参加者が増え、人と人の関わりが広がった	5	年会費の会員証発行で、クラブ員の意識。年間行事への意識が増	4	スポーツ行事が地域交流行事となり、老若男女の参加が増えた	4	夏休みに開催の約30日間のラジオ体操では、人と人、地域交流の活性化。	4	夏休みのラジオ体操、運動会では多世代交流がみられる	4	ラジオ体操、運動会等では多数参加がある。	4		

クラブ名		スポーツクラブ21潮見													
年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
クラブ会員		281人		288人		309人		233人		288人		280人			
上記会員の内週一回程度の実践者		281人		288人		300人		233人		288人		280人			
当該地域の人口		10,833人		9,398人		11,190人		11,200人		11,300人		11,244人			
加入率		2.59%		3.06%		2.76%		2.08%		2.55%		2.49%			
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価		
多様目	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	特にとっていないが、多様目に参加することはできる	4	会員は多様目を選択できる	4	できている(13種目)	5	会員は多様目に参加で出来る体制をとっている。	5	会員は多様目を選択できる	5	出来ている	5		
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	子どもから高齢者まで活動できている	5	会員は子どもから高齢者まで活動ができている	5	小学校校区なので中・高生の参加が少ない	4	子供から大人まで世代に応じた活動を行っている。	5	世代に応じた活動を行っている	5	年代別の活動を行っている	5		
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	その体制ではない	2	一貫の体制ではない	2	クラブにみあった活動体制はとれている	3	各クラブにみあった体制をとっている。	3	各種目で活動出来ている	3	各種目団体で行っている	4		
クラブハウス	クラブハウスを頻繁に利用している	学校の空き教室を利用している	5	学校の空き教室を異クラブハウスとして活用できている	5	今のところ問題なしが空き教室借用なので児童が増えたときどうするか	4	学校の空き教室を利用している。	5	学校の空き教室を利用している	5	学校の空き教室を利用出来ている	5		
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	各種目別で自主運営ができている	5	各クラブは自主運営できている	5	とっている	5	各クラブは自主運営出来ている。	5	各種目クラブで自主運営出来ている	5	各種目団体で行っている	5		
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	すべてが整っていないが、その方に向けてすすめ	3	その方向に向けて運営している	3	徐々に整ってきている	4	徐々にその体制に向け、進めている。	4	整えている	4	会員の意識が高まり徐々に整ってきている	5		
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	図られていると思う	5	定期的に会議等で協力体制をとっている	5	多いに図られている	5	連携、情報交換は図られている。	5	情報交換や協力体制は図られている	5	おおむね図られている	5		
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	まだ十分ではない	3	徐々にではあるが前進している	3	基金が垂悪までに計算できるように収入増を画策中	4	十分ではないが進めている。	4	十分ではないが進めている	4	十分ではないが進めている	4		
広報	クラブの情報を積極的に発信している	積極的にいところまでできていない	3	広報紙やチラシなど配布している	4	これまでと同じ	3	広報紙や、チラシなど地域に発信している。	4	広報紙や案内チラシを地域に発信している	5	事業案内など地域に発信している	4		
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	情報交換や交流は積極的に行なっている	4	情報交換や交流については積極的に行なっている	4	地域事業においてはある程度図られている	4	必要に応じて。	4	必要に応じて行っている	4	必要に応じて行っている	4		
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	特に変化なし	3	変化なし	2	最近市域事業の参加者が増加の傾向	3	特に変化なし。	3	特に大きな変化はみられない	3	現状維持	3		
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	判らない	2	わかりません	2	あまり感じない	2	特に変化なし。	3	変化なし	3	特に変化無し	3		
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	これまでと変わらない	2	変化なし	2	地域事業においては校区内自治会や管理組合が常に協力	4	特に変化なし。	3	変化なし	3	変化なし	3		

クラブ名		スポーツクラブ21宮川													
年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
クラブ会員		174人		165人		168人		165人		167人		177人			
上記会員の内週一回程度の実践者		15人		11人		11人		16人		13人		19人			
当該地域の人口		11,592人		11,710人		11,732人		11,749人		10,654人		11,853人			
加入率		1.5%		1.40%		1.43%		1.40%		1.57%		1.49%			
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価		
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	指導者ならびに使用場所・時間帯に制約有り	3	使用日、使用時間帯そして指導者に制約有り	3	使用日、時間帯、場所、指導者関係で「選択」できる状況ではない	3	施設、使用希望、時間帯、指導者の有無もあって「選択できる」に至らず	3	これまで同様に施設、使用希望、時間帯、指導者の有無もあって「選択できる」に至らず	3	使用施設や時間帯、指導者等で「都度選択」ではなく登録制での活動	2		
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	上記同様に指導者や使用場所、時間に制約有り	3	上記同様に制約有り	3	上記同様に「多世代のニーズ」にはいたっていない	3	上記にも関連するが、「多世代のニーズ」にまで応じることはできていない	3	施設、時間帯、指導者の関係で多世代のニーズに応じることはできていない	3	施設や設備、指導者の関係で多世代ニーズ対応まで至っていない	3		
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	若年から年配者まで活動は可能だが、種目は制約される	3	上記の制約に加え、種目が限定される。	3	場所や指導者に制約あり	3	上記同様に「一貫しての活動」には指導者を含めて難しい	2	上記同様に「一貫しての活動」には至っていない	2	上記同様に施設や設備、指導者等の関係で一貫しての活動はできていない	3		
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している		5	クラブ専用の事務室を所有	5	クラブ専用の事務室設置済み	5	クラブ専用の事務室等あり	5	共有使用可能な施設・設備は完備していると思われる	5	登録団体が使用できるスペース等は確保できている	5		
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている		5	学校協力を得ての自主運営はできる	5	あくまでも「コミスク」内での自主運営はできていると考える	5	個々の団体の活動は尊重する中で、クラブとしては自主運営である	5	個々の団体の活動は尊重する中で、クラブとしては自主運営である	5	基本的に各団体による独自活動・運営を尊重	5		
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	会費で運営	5	会費で運営するが、コミスク連携で体制をとっている	5	上記同様「コミスク」内での受益者負担の体制はできている	5	各人会費内での自主運営を基本としている	5	クラブ全体としては会員による会費(年1,000円/人)で運営	5	スポーツクラブ(コミスク)として年1,000円/人の会費で運営	5		
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	毎月定例の幹事会にて	5	毎月の定期幹事会を通じて連携を図っている	5	毎月の定期幹事会にて情報の共有、連携はできている	5	クラブ全体だけでなく、個別での団体や学校との連携・協力あり	5	クラブ全体に加え、個々の団体ごとでも連携・協力がはかられている	5	クラブとして、個別登録団体としてはそれぞれの立場での連携協力	5		
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる		4	あくまでもコミスクとの連携において	4	「コミスク」との連携において可能と考える	4	スポーツクラブ単独ではなく「コミスク」の一員としての自主運営	5	設立に関係するが、スポーツクラブ単独ではなく、コミスクの一員として	5	設立の経緯もあるが、コミスクとの関連において自主運営は可能	5		
広報	クラブの情報を積極的に発信している	コミスクとの連携	5	毎月の定例幹事会や掲示板を通じて	5	毎月の定例幹事会や掲示板を通じて	5	積極的にとまではいかないが、連絡協議会等を通じて	3	積極的にとまではいかないが、コミスクとの関係において	3	積極的にとまではいっていないが、コミスクとの関連において情報は発信済	3		
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	連絡協議会を通しての連携は図られている	4	連絡協議会を通じて	4	他のスポーツクラブとの連携交流は限られている	2	上記同様	3	連絡協議会等での情報交換によりなされていると思われる	3	従来通り連絡協議会等での連携・交流のみ	3		
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	コミスク活動があったのでスポーツクラブによる変化はない	3	これまでのコミスクの延長線上でとらえている	3	特になく、あくまでも「コミスク活動」の延長ととらえられている	2	ベースのコミスク活動の継続ということから特に変化はない	2	もともとの設立がコミスクに関連してのものであり、特に変化はないと思う	2	従来のコミスクのスポーツ部門のクラブ化につき、特に変化はなし	2		
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている		3	特に大きな影響はないが、継続できている	3	好影響は不明だが、スポーツに親しみきっかけにはなっている	3	好影響の有無は難しいが、スポーツが身近な意識でとらえられているのでは	3	好影響かどうかの判断は難しいが、スポーツ推進でのマインナスは判断している	3	クラブ自体では特になく、スポーツ推進・継続にはプラス	3		
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた		3	設立による活性化はないが、活動継続には意義があると思う	3	設立による変化は感じられないが、継続しての活動に意義があると思う	3	クラブの有無ではなく、コミスクとしての継続活動に意義があると思う	3	コミスクの一員として地域の活性化よりも継続活動に意義があると思う	3	コミスクの延長線上であり、地域の交流や活性化にはプラスでは、...	3		

クラブ名		スポーツクラブ21YAMATE											
年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
クラブ会員		530人		350人		528人		432人		407人		430人	
上記会員の内週一回程度の実践者		320人		270人		250人		300人		301人		180人	
当該地域の人口		19,678人		18,880人		14,143人		11,300人		13,687人		11,822人	
加入率		2.69%		1.85%		3.73%		3.82%		2.97%		3.64%	
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
多様目	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	まだまだ種目を増やしたいと思	4		3	できているかどうか(9種目)	4	10種目 多いとは言えないかも。	3	とってはいますが、多様目参加は多いとはいえません。	4	新しい種目を増やす努力はしている。	4
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	できていると思う	5		4	小学校区なので中・高生の参加が少ない。30歳40歳の加入が難しい	3	中・高生、30、40代の参加が少ない。	3	どのスポーツも参加可能ですが中高生～40代は集まりません	4	参加しにくい世代のニーズを探る努力をしている。各クラブ、門戸を広く開くようお願いしている。	4
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	大きなイベントには多世代が関わり活動している	4		3	クラブに見合った活動体制はとれている	3	条件にあったクラブは少ない。	3	活動への呼びかけはしています。指導とは？	3	従来、大人だけのクラブにジュニア部門も設けている。(ソフトテニス・卓球・太鼓)	5
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	活動の拠点になっている	5		5	専用施設があります	5	活動の拠点になっている	5	有効に活用しています	5	今、与えられている場所は自由に使ってもらっている。	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	立ち上げ時にサポートし、その後は自主活動を促している	5		5	とっている	5	とっている	5	とっています	5	クラブ備蓄金も考慮に入れてもらうようお願い。祭りの収益など、すべてクラブに還元。	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	できている	5		5	ある程度整っている。大きな備品購入は助成金からの支出に頼らざるおえない	4	大きな備品の購入に関しては助成金に頼らざるを得ないが、ほぼ自主運営できている。	5	整っていますが、会費がないところもあるのでそのほうが心配です	4	できていると思う。	5
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	できている	5		5	多いに図られている。月1回の委員会を開催。学校関係者、各クラブから幹事が出席し、意見交換等連絡を取り合っている	5	学校との連携はとれている。	5	学校との連携はたいへん良好です	5	学校とは非常に緊密、かつ友好的に運営している。外部のクラブとも現在、進めている案件がある。	5
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	会員数が少くなければ経理面が苦しくなるので、会員の確保を促している。	4		4	基金が終わるまでに計算できるように収入増を画策中	4	自主財源を増やすべく努力している。	5	会員数の少ないクラブや出入りの多いクラブが難しいと感じています	4	今のところバランスはとっているが、将来、備品の老朽化などもあり、会費について一考を要するかもしれない。	5
広報	クラブの情報を積極的に発信している	全戸配布年2回、各クラブから情報発信(会員募集など)を促している	4		4	年2回広報紙を全戸配布のほかランダムにイベントチラシも配布	3	年2回の全戸配布広報紙とイベント毎のチラシを小まめに配布。HPの充実を語る	5	年2回の広報紙発行やイベントチラシを発信しています	5	HPの充実をさらに語り、情報の提供量を増やしたい。現在、進行中!	5
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	SC21YAMATEのHPを有している	4		3	地域事業においてはある程度図られている	4	芦屋市SC連絡協議会で情報交換をしている。	5	連絡協議会で意見交換などはできていますが交流まではいかないかも	4	HPにより、他クラブからの問い合わせがある。	5
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	徐々にスポーツに対する認識が変化していると信じている	3		4	最近地域事業の参加者が増加の傾向	4	地域イベントへの参加者が増加したように感じる。	4	広報紙発行後に問い合わせがあったりしますが変化の実感はありません	3	スポーツクラブに所属する、という概念は多少なりとも広がったかと。しかし、まだご存じない方もいるのは残念!	4
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	判りません。連絡協議会で情報の交換は行なっている	3		3	あまり感じない	2	分からない。	3	好影響かはわかりませんが、地域性にあつた活動をしていると思います	3	分かりません。しかし、YAMATEに問い合わせがあるということ、は、多少波及しているのかも。	3
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	そうなると信じて活動している	4		4	地域事業においては校区内7自治会が常に協力	4	スポーツへの意識の向上は語れているのではないかと思います。	5	意識をもって活動しています。活動場所が住宅街なので理解をえられないことも・・・	3	そうなっていると思いたい。地域の方が判断される事でしょう。スタッフ、日々努力はしています。皆さん、ボランティアで!	3

クラブ名		朝日ヶ丘スポーツクラブ21													
年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
クラブ会員		456人		489人		286人		277人		270人		256人			
上記会員の内週一回程度の実践者		456人		489人		88人		61人		79人		93人			
当該地域の人口		9,265人		9,824人		9,787人		9,845人		9,737人		9,585人			
加入率		4.92%		5.00%		2.92%		2.81%		2.77%		2.67%			
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価		
多様目	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	体育館・運動場は有効利用しているがまだ足りない	4	学校施設は最大有効活用している。施設不足で種目が増やせない	4	出来ている(12種目)	5	できている	5	できている	5	できている	5		
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	スポーツメニューは施設が無いのでこれ以上組めない	4	施設不足で応じることができない	4	小学校校区なので中・高生の参加が少ない	5	中・高生向けは少ない	4	特別メニューはないが、クラブOBが引き続き参加している	4	中高生向けのクラブは無いが、卒業生が時々参加している	4		
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	多世代の仲をどうとらえるか、30代～40代は関われない	3	若者が活動するのはむづかしい	4	クラブにみあった活動体制は取れている	5	クラブに見合った活動はできているが、大人のサークルに新人が入りにくい	4	クラブに見合った活動はしている	4	クラブに見合った活動をしている	4		
クラブハウス	クラブハウスを頻繁に利用している	サークル同志が頻繁に利用している	4	有効活用している	4	今のところ問題なし	5	有効に活用している	5	有効に活用している	5	有効に活用している	5		
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	充分とっている。自主運営と言っても謝金0のボランティア	4	各クラブは自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	自主運営ができています	5		
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	会費は全て徴収しているが、指導者には謝金を払っているクラブは半分	4	それぞれに会費は違うが運営は整っている	5	整っている	5	整っている	5	整っている	5	整っている	5		
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	学校・地域・PTAの協力連携はすばらしい	5	学校との連携・協力は良好	5	学校とは図れているが、市内の民間スポーツクラブなどとは関係ない	4	学校とは連携しているが、民間とは連携していない	4	学校と連携しているが、民間とは連携していない	4	学校とは連携しているが、民間とは連携していない	4		
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	自主運営は黒字で運営している	5	各クラブとも年間計画で運営は計算できている	5	出来ている	5	できている	5	できている	5	できている	5		
広報	クラブの情報を積極的に発信している	広報は年2回 各クラブの情報はその都度発信	5	広報紙は年2回発行	4	年2回のコミスクだよりと造形展で広報、夏祭り、運動会で活動披露	5	今年度よりカラー紙となり、より見やすい工夫をした	5	できている	5	広報誌「コミスクだより」を年2回発行、新しく掲示板をコミスク室横に設置	5		
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	半数以上は交流ができています	4	年間を通して連携交流が図られている	4	地域事業においてある程度図られている	5	交流試合など子どもサークルは盛んだが、大人のサークルはしていない	4	子どもサークルは市内はもとより、他地域との交流も盛んになってきている	4	子どもサークルは市内、市外などとも交流が盛んなサークルが多い	4		
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	クラブのイベント参加人数はすごく大勢	3	イベント等には意識が高い参加率は高い	3	設立より年数が経っているので、設立による変化はないが、加入率はやや減少	3	今は特に感じられない	3	特に感じない	3	特に感じない	3		
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	把握するのはむずかしい	2	お互いに切磋琢磨している	3	あまり感じない	3	あまり感じない	3	わからない	3	試合で勝ち進むと、目標にしているようだ	3		
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	イベントの老若男女の参加で喜ばれている	3	自己評価は活性化していると思われませんが...	4	地域事業においては常に学校、園、自治会、福祉など協力	5	地域行事の時は、多くの協力者があり大変盛り上がりしている	5	イベント時にはクラブごとに協力があり、コーチ、クラブOBの参加も多い	5	イベント時にはクラブごとの協力があり、コーチやOBの参加も多い	5		

クラブ名		スポーツクラブ21打出浜											
年度		23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度						
クラブ会員		254人	273人	292人	275人	254人	254人						
上記会員の内週一回程度の実践者		254人	8人	24人	105人	200人	105人						
当該地域の人口		9,644人	9,795人	10,249人	10,206人	10,133人	10,090人						
加入率		2.63%	2.78%	2.84%	2.69%	2.51%	2.52%						
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
多種目	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている		5	できている(14種目)	5	できている(13種目)少林寺が廃部	5	13種目	5	14種目(バレーが登録)	5	14種目	5
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	各クラブに於いて実施	5	小学校区なので中・高生が少ない	4	クラブとしては中・高生の登録がみられないが、地域事業に限られてはいるが、中・高生が増えた	4	昨年と同様、地域事業に中・高生の参加がある。	4	地域事業に中高生の参加	4	昨年と同様、地域事業に中・高生の参加がある。	4
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている		3	クラブにみあった活動体制はとれている	3	クラブにあった活動体制はとれている	4	クラブに見合った活動体制	4	クラブに見合った活動体制	4	クラブに見合った活動体制	4
クラブハウス	クラブハウスを頻繁に利用している		5	空き教室を使用しているので今のところ問題なし。児童数が増えたらどうするか	4	今のところ問題なし、空き教室借用なので児童が増えたらどうするか	4	今のところ問題なし	4	今のところ問題なし	4	今のところ問題なし	4
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	とっているとされる	5	とっている	5	とっている	5	取れている	5	とっている	5	取れている	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	整っている	5	ある程度整っている	4	ある程度整っている	4	当分は現状維持で整っているが、基金なしの状態、受益者負担の再考	4	基金なしなので受益者負担の再考	4	当分は現状維持で整っているが、基金なしの状態、受益者負担	5
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	おおいに図られている	5	多いに図られている	5	多いに図られている	5	はかれている。	5	多いにはかれている。	5	はかれてる。	5
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	参加費・年会費を徴収、ある程度できる。	4	現状普。基金が無くなるまでに計算できるように収入増を画策中	4	現状普。基金が終わるまでに計算できるように収入増を画策中	4	現状はできるが、先にも書いたが、今後、再考の余地あり。	4	現状は出来る。今後再考。	4	現状はできるが、先にも書いたが、今後、再考の余地あり。	4
広報	クラブの情報を積極的に発信している	広報紙、学校作品展にて各クラブ情報発信	3	年4回発行	3	年4回配布	3	地域事業においては、取れている	4		4	地域事業においては、取れている	4
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	毎月幹事会に於いて各クラブの活動報告を行なう	4	地域事業においてはある程度図られている	4	地域事業においてはある程度図られている	3		3		3		3
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた		3	最近地域事業の参加者が増加の傾向	3	最近地域事業の参加者が増加の傾向	3	昨年同様、現状維持は出来ている。	3	地域事業の参加が増えている。	4	昨年同様、現状維持は出来ている。	3
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている		2	あまり感じない	2	あまり感じない	2	あまり感じない	2	あまり感じない	3	あまり感じない	2
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた		3	地域事業においては校区内4自治会が常に協力	4	地域事業においては校区4自治会が常に協力	4	地域事業においては、校区4自治会が常に協力	4	地域事業・幹事会等校区4自治会が協力大	4	地域事業においては、校区4自治会が常に協力	4

クラブ名		岩園スポーツクラブ21											
年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
クラブ会員		505人		508人		511人		484人		440人		466人	
上記会員の内週一回程度の実践者		412人		430人		440人		410人		371人		393人	
当該地域の人口		12,865人		12,535人		13,264人		13,318人		13,470人		13,404人	
加入率		3.92%		4.05%		3.85%		3.63%		3.27%		3.48%	
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
多様目	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	複数のサークル(種目)に参加可能。複数サークルに参加している者あり。	4	複数のサークルに参加可能。実際に複数のサークルにさんかされている方有り。	4	各サークル毎に徴収する会費も低額で、複数のサークルに参加しやすい体制です	4	サークル毎の会費は低額に設定されていて、複数サークルに参加しやすい体制です。	4	サークル毎の会費が低額設定なので複数サークルに参加しやすい体制です。	4	サークル毎の会費が低額設定なので、複数種目に参加しやすい体制です。	4
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	中学生に対応できないサークルもある	4	小学校卒業と同時に引退というサークルも多く、中学生への対応が不十分	4	子どものサークルは小学校卒業と同時に引退というところも多く、中学生への対応が不十分です	3	子供対象のサークルには、参加対象が小学生までという種目があります。	3	子どもの受け入れが小学生迄で中学生に対応出来ない種目があります。	3	中学生に対応できていないサークルもあります。	3
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	サッカー、野球、ミニバスは小学生までが対象でその後は部活へ	3	サッカー・野球・ミニバスは小学生までが対象でその後は部活へ	3	サッカー・野球・ミニバスは小学生までが対象で、その後は部活へ	3	上記の理由で、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は、部活へ。	3	上記の理由で、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は部活へ。	3	上記の理由から、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は部活へ。	3
クラブハウス	クラブハウスを頻繁に利用している	フルに活用している	5	フルに活用しています	5	フルに活用しています	5	フルに活用しています。	5	フルに活用しています。	5	フルに活用しています。	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	全体運営とは別に、各種目毎に自主運営のシステムが出来ている	5	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています	5	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています	5	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています。	5	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています。	5	全体運営と別に、各サークル毎に自主運営システムが出来ています。	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	高額な備品購入まで考えるのですが、通常の活動範囲内ではほぼできています	4	今後高額備品の買換えは必要な時期になります。その時完全受益者負担は難しいかもしれませんが、友情活動においては目処がたっています	4	現時点で高額備品の買換えもふくめると受益者負担率100%ではないが、基金を大切に使い、困らないよう対処している	4	現時点で、高額備品の買換えも含めると受益者負担率は100%ではないが、基金を大切に使い、困らないように対処している。	4	現時点では高額備品の買換え資金も含めると受益者負担率100%とは言いが、基金を大切に運用して困らないように対処しています。	4	現時点では高額備品の買換え資金も含めると受益者負担率100%とは言いが、基金を大切に運用して困らないように対処しています。	4
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	学校との連携はとれているが、クラブ活動との連携は図れていない	4	学校との連携はとれていますが、クラブ活動との連携は図られていません	4	学校との連携はとれていますが、クラブ活動との連携は図られていません	4	学校との連携はとれていますが、クラブ活動との連携は図られていません。	4	活動する上での学校との連携は取れていますが、クラブ経つ同との連携は取れていません。	4	活動する上で、学校との連携は取れていますが、クラブ活動との連携はありません。	4
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	ほぼ目処がたってきた	4	高額備品の買換えは今は大丈夫ですが、この先の長期計画が必要になると思います	4	受益者負担の欄への回答+この先の運営方法を含む長期計画は必要	4	受益者負担の欄への回答+この先の運営方法を含む長期計画は必要	4	受益者負担の欄への回答+この先の運営方法を含む長期計画を検討中です。	4	受益者負担の欄への回答+この先の長期運営計画を検討中です。	4
広報	クラブの情報を積極的に発信している	地域内に年2回と随時全戸に配布。行事案内を掲示・配布している	5	地域内に全戸配布。年2回及び随時行事案内を掲示・配布している	5	地域内に全戸配布。年2回及び随時行事案内を掲示・配布している	5	地域内に全戸配布/年2回の広報紙発行と随時行事案内を掲示・配布しています。	5	地域内に全戸配布/年2回の広報紙発行と随時、行事案内を掲示・配布しています。	5	地域内に全戸配布/年2回の広報紙(6300部)発行と随時、行事案内を掲示・配布しています。	5
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	種目ごとにサークル間での交流は行なわれている	4	種目毎にサークル間での交流は図られています	4	種目毎にサークル間での交流は図られています	4	クラブ間での情報交換と種目毎のサークル間での交流(合同練習や試合)は図られています。	4	クラブ間での情報交換と種目毎にサークル交流は図られています。	4	クラブ間での情報交換と種目ごとのサークル交流合同練習や試合は図られています。	4
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	SC21設立以前からコミスクとして実績があったので住民意識はある	3	以前よりコミスクとしての活動がありましたので...	3	SC21設立より、コミスクとしての活動がありましたので、顕著な変化は実感していません。	3	SC21設立より、コミスクとしての活動がありましたので、顕著な変化は実感していません。	3	SC21設立以前より、]コミスクとしての活動実績がありましたので、顕著な変化は実感していません。	3	SC21設立以前より、コミスクとしての活動実績があるので、顕著な変化は実感していません。	3
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	SC21設立以前からコミスクとして実績があったので広域化・波及効果有り	3		3		3		3		3		3
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	SC21設立以前からコミスクとして実績があったので社会公益性はあり	3		3		3		3		3		3

クラブ名		スポーツクラブ21精道													
年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度			
クラブ会員		242人		226人		263人		278人		244人		240人			
上記会員の内週一回程度の実践者		242人		226人		251人		250人		238人		229人			
当該地域の人口		13,140人		12,760人		13,671人		13,328人		13,434人		13,263人			
加入率		1.84%		1.77%		1.92%		2.09%		1.82%		1.81%			
要因	細目	現状		現状		現状		現状		現状		現状			
			評価		評価		評価		評価		評価		評価		
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	11種目のクラブが活動し、複数の種目で選択が可能	4	10種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	4	できている	5	多様性のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	5	10種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	5	9種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能。	5		
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	児童から高齢者まで参加可能な種目が用意されている	4	子どもから高齢者までが参加できるメニューが用意されている。	4	小学校校区なので中・高生の参加が少ない	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある。	4		
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	多世代がひとつの種目を継続できる体制にはなっていない	2	バドミントン以外は他世代が一貫して活動できる体制になっている	2	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	3	子どもから大人まで参加できる種目は少ない	2	多世代にわたって参加可能なクラブは少ない	2	多世代が一貫して参加できる種目は少ない。	2		
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	学校内にクラブハウスを設置、活動時には常時利用	5	学校内にクラブハウスを設置、活動時には常時利用	5	コミスクとの兼用であるが独立したクラブハウスを確保している	5	コミスクとは兼用であるが、クラブハウスを確保している	5	コミスクとは兼用ではあるがクラブハウスを確保している	5	コミスクと兼用ではあるが、専用のクラブハウスを確保している。	5		
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	役員会を組織し、クラブ活動は役員会を中心に運営している	5	役員会を組織し、クラブ活動は役員会を中心に活動している	5	自主運営体制となっている	5	自主運営体制となっている	5	自主運営体制となっている	5	自主運営の体制となっている。	5		
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	種目ごとの会費は利用者が全て負担。クラブ全体で行なう行事は補助金を活用	4	種目ごとの会費は利用者が全て負担。クラブ全体で行なう行事は基金を活用	4	ある程度整っている	4	日常の種目活動は受益者負担で行っている	4	日常の活動は受益者負担で行っている	4	日常の活動費は、受益者負担で実施している。	4		
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	PTA、学校代表が役員に参画しており、連携をはかっている	3	役員には学校、PTA代表が参画し事業を運営	3	学校等との連携協力はできている	4	PTA、学校から役員に参画があり連携を取る努力はしている	4	PTA、学校から役員が参画しており、連携した活動を目指している	4	PTA、学校からも役員として運営に参加している。	4		
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	日常の活動経費は確保している。広報やイベントの経費確保は困難	4	日常の活動経費は確保できるが、広報やイベントの事業費確保は困難	4	問題はない。基金がなくなっても各種目の活動継続は可能	4	種目ごとの会費は会員が負担して事業を実施できている	4	各種目の活動は自主財源で賄われており、収集の確保はできている	4	日常の活動費は受益者負担で運営できており、経理面は安定している。	5		
広報	クラブの情報を積極的に発信している	年2回広報紙を発行、現状：主催事業は学校等を通じてチラシを配布し事業を周知	4	広報紙を年2回発行し校区内に配布している	3	年2回広報紙を配布。事業の周知は学校、幼稚園等にチラシを配布	4	年2回広報紙を発行、オープンスクールは学校を通じてチラシを配布	4	年2回の広報紙の発行、行事関係は学校でチラシを配布し広報している	4	年2回広報紙を発行している。行事は別途チラシを作成し生徒に配布。	4		
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	連絡協議会に参加	3	連絡協議会に参加し活動	3	連絡協議会に参加	3	連絡協議会に参加	3	連絡協議会に参加している	3	連絡協議会に参加している。	3		
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	クラブ設立以前からコミスク活動が定着しており新たな変化はみられない	1	クラブ設立以前からコミスク活動が定着しており新たな変化はない	1	設立以前より地域の活動が活発であったため大きな変化はない	2	クラブ設立以前からコミスク活動が行われており、大きな変化はない	2	クラブ設立以前よりコミスクの活動があり、大きな変化はない	2	クラブ設立以前にコミスクが活動しており、大きな変化は見られない。	2		
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	それぞれのクラブの運営方針に基づいて運営されている	1	それぞれのクラブの運営方針に基づいて運営されている	1	あまり感じない	2	あまり感じない	2	あまり感じない	1	影響は感じられない。	1		
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	スポーツ世代のひろがり視野に事業を展開している	2	スポーツ世代の広がりをめざし活動を行なっている	2	スポーツ世代の広がりをめざし活動を行なっている	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、結果に対する評価は難しい	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、十分な結果は得られていない	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、結果に結びついていない。	2		

クラブ名		浜風スポーツクラブ21											
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度						
クラブ会員		200人	200人	180人	200人	200人	200人						
上記会員の内週一回程度の実践者		200人	200人	180人	200人	200人	200人						
当該地域の人口		7,022人	7,273人	7,260人	7,267人	7,181人	7,200人						
加入率		2.84%	2.74%	2.47%	2.75%	2.79%	2.78%						
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価		
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	13種目のスポーツクラブがあり、年1回住民対象でニュースポーツの紹介もしている	5	現在10種目 12クラブが登録している	5	できている(11種目)	5	10種目 14クラブが登録している	5	現在10種類 14クラブが登録している。空手2クラブ フットサル4クラブ	5	昨年同様 10種類 14クラブが登録している 空手2クラブ フットサル4クラブ	5
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	子どもから大人まで参加できる環境づくりをしている	5	小学生が参加できるバトン、ダンス等があれば良いと思う	5	各クラブの活動の他一般住民対象にスポーツ体験や交流会なども実施している	4		5	上記のほかに 年1回スポーツ交流会で障がい者スポーツやニュースポーツの紹介をしている	5	年1回スポーツ交流会で地域住民向けスポーツの機会を提供	5
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	一定の制限あり。少年・少女サッカー、ミニバスは小学生、パレーはママさんのみ	5	とっている	5	クラブにみあった活動体制はとれている	4		5	幼稚園から後期高齢者まで参加されている。	5	幼児から高齢者まで参加できるスポーツの種類がある	5
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	多数のクラブが頻りに利用している。肯定開放の事務所にも利用している	5	各クラブが利用している	5	今のところ問題なし	5	会議や、備品(冷蔵庫、PC、コピー機、印刷機等)の使用などに各登録クラブが利用。	5	浜風コミスクと共有のクラブハウスがある。備品も共有	5	浜風コミスクと共有のクラブハウスがある。備品も共有している。	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	月1回全クラブ出席の理事会。各クラブごと自主的に運営している	5	とっている	5	とっている	5	自主運営をしている。	5	自主的に運営できている。	5	自主的に運営できている	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	各種目毎の運営は十分可能。一般住民対象の行事は補助金が無くなれば縮小かも	5	いずれ(基金が無くなれば)値上げが必要	4	整っている	4	各登録クラブの運営はOK。クラブハウス・備品などの維持には将来会費の値上げが必要。	5	印刷機など備品の購入修理に備えて、助成金がなくなる前に値上げの検討が必要。	4	交流会に参加費徴収。備品の購入修理に備えて会費の値上げは要検討。	4
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	学校との連携は良好。お互いに協力体制ができている。	5	自治会、学校と連携・協力ができている	5	多めに図られている	5	自治会、学校、老人会などの地域団体との連携、協力は図られている。	5	学校、地域団体(コミスク、芦屋浜自治連合会など)との連携はとれている。	5	学校、地域団体(コミスク 芦屋浜自治連合会など)とは連携がとれている。	5
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	できる	5	できる	5	基金が終わるまでに計算できるように収入増を画策中	4	できる。	5	印刷機などの大型備品の管理以外は 十分自主運営できる。	4	物置、印刷機など大型備品の管理以外は、十分自主運営できる	5
広報	クラブの情報を積極的に発信している	年2回広報紙を全戸へ配布。体験教室、行事のチラシ、ポスターで発信	5	年2回広報紙を発行、各行事についてはその都度ポスター・チラシを配布	5	広報紙年2回 他 ちらし、ポスターなどで発信している	5	年2回広報発行(全戸配布)。行事毎にポスター掲示、ちらし(学校を通じて)配布。	5	年2回の広報を浜風小学校区の全戸に配布 行事ごとにポスター掲示	5	広報紙(年2回)を全戸配布。行事ごとにちらしを小学校児童に配布、ポスター掲示。	5
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	交流をもっている。スポーツクラブ21芦屋市連絡協議会有り	5	必要に応じて	5	地域事業においてはある程度図れている	4	推進委員会への参加。その他必要に応じて。	5	芦屋市スポーツクラブ21連絡協議会の場で情報交換	5	芦屋市スポーツクラブ21連絡協議会の場で情報交換。	5
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	もともとスポーツはあったので、あまり変化が無い	3	従来より活動していたので大きな変化はない	3	最近では自治会と協働して活動することが多い	3	よくわからない。	3	あまり変わりはない	3	よくわからない。広報紙やネットで見て、住民から加入の問合せはある。	3
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	よくわからない	3	よくわからない	3	あまり感じない	3	よくわからない。	3	あまり変わりはない	3	よくわからない。近隣のクラブとは何をさしているのか?	3
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	よくわからない	3	基金のおかげで活動が充実し、地域にむけた行事も活性	5	設立による変化はあまり感じない	3	助成金のおかげで地域にむけた行事も充実した。	5	あまり変わりはない	3	設立時は活性化したと思う。昨年との比較では、あまり変わらない。	3

平成27年度

全県連絡協議会	
6月5日	第1回全県連絡協議会（芦屋市連絡協議会会長が出席） (1)平成26年度全県連絡協議会決算案及び監査報告 (2)平成27年度「スポーツクラブ21ひょうご」全県交流事業計画(案) (3)平成27年度「スポーツクラブ21ひょうご」収支予算案 (4)全県連絡協議会会費納入について (5)全県連絡協議会特別会計の活用について
7月12日	全県スポーツ大会 ソフトバレーボール(多可町)
9月17日	第2回全県連絡協議会（芦屋市連絡協議会会長が出席） (1)平成27年度全県スポーツ大会について (2)平成27年度全県スポーツサミットについて (3)近畿ブロッククラブネットワークアクションについて (4)平成27年度の各地区連絡協議会について
9月26日	生涯スポーツ指導者阪神・丹波地区研究会(芦屋市立体育館・青少年センター)
10月24日	全県スポーツ大会 グラウンド・ゴルフ交流大会(太子町)
10月31日	近畿ブロッククラブネットワークアクション2015 (1)基調講演「地域における総合型地域スポーツクラブの必要性」 (2)クラブ事例発表 (3)クラブ運営シミュレーション
11月1日	近畿ブロッククラブネットワークアクション2015 (1)分科会 (2)基調講演「関西ワールドマスターズゲームズ2021による地域の活性化と総合型地域スポーツクラブの役割」
11月7日	全県スポーツ大会 ソフトバレーボール(朝来市)
11月26日	全県スポーツ大会 グラウンド・ゴルフ交流大会(尼崎市)
12月5日	「スポーツクラブ21ひょうご」全県スポーツサミット
12月6日	全県スポーツ大会 バレーボール大会(加古川市)
12月12日 ～13日	全県スポーツ大会 ミニバスケットボール大会(加古川市)
12月17日	全県スポーツ大会 グラウンド・ゴルフ交流大会(淡路市)
1月16日	全県スポーツ大会 あじさいロードレース大会(神戸市)
1月23日	全県スポーツ大会 囲碁ボール大会(丹波市)
3月3日	第3回全県連絡協議会（芦屋市連絡協議会会長が出席） (1)平成27年度「スポーツクラブ21ひょうご」事業報告について (2)平成27年度「スポーツクラブ21ひょうご」収支決算報告(見込み)について (3)平成28年度「スポーツクラブ21ひょうご」事業(案)について (4)平成28年度「スポーツクラブ21ひょうご」収支予算(案)について (5)特別会計の使途について

阪神連絡協議会	
6月8日	第1回阪神地区市町担当者会 (1)平成27年度「スポーツクラブ21ひょうご」連絡協議会の運営及び事業について (2)平成28年度「スポーツクラブ21ひょうご」阪神地区連絡協議会(仮)の運営及び事業について ①阪神地区連絡協議会規約(案)について ②役員や理事等の割り当て等について (3)情報交換
6月11日	第1回阪神南連絡協議会・組織統合会議 (1)平成27年度全県連絡協議会第1回推進会議及び理事会の報告 (2)平成27年度阪神南地区連絡協議会の運営及び事業について (3)情報交換 (4)阪神地区連絡協議会規約(案)について (5)役員や理事等の割り当て等について
6月28日	「スポーツクラブ21ひょうご」阪神地区交流フェスティバル in いながわ スローイングビンゴ大会(猪名川町)
10月27日	第2回阪神地区市町担当者会 (1)スポーツ立県ひょうご創出プロジェクト(阪神北地区交流フェスティバル6/28)(報告) (2)第2回全県連絡協議会(9/17)(報告) (3)全県スポーツ大会について (4)全県スポーツサミットについて (5)スポーツ立県ひょうご創出プロジェクトについて (6)地区連絡協議会の運営について
11月5日	第2回阪神南連絡協議会・組織統合会議 (1)全県連絡協議会の報告 (2)平成27年度全県スポーツ大会について (3)平成27年度阪神南地区交流フェスティバルについて (4)平成27年度全県スポーツサミットについて
3月5日	「スポーツクラブ21ひょうご」阪神地区交流フェスティバル in Nishinomiya (1)「誰もができるスポーツ体験会」 (2)「親子でからだを動かそう!!」2～3歳の部 (3)「親子でからだを動かそう!!」4～5歳の部
3月15日	第3回阪神地区市町担当者会 (1)平成27年度スポーツクラブ21ひょうご全県連絡協議会報告 (2)平成28年度以降の阪神地区連絡協議会の運営にかかる必要事項の検討
3月17日	第3回阪神南連絡協議会・組織統合会議 (1)全県連絡協議会の報告 (2)平成28年度以降の阪神地区連絡協議会の運営に係る必要事項の検討

芦屋市連絡協議会	
4月～5月	<p>※平成26年度の基金に係る書類を県教委へ提出</p> <p>4月～5月中旬にかけて各スポーツクラブの総会が開催された</p>
6月18日	<p>第1回</p> <p>(1)平成27年度「スポーツクラブ21ひょうご」全県連絡協議会理事会の報告について(報告)</p> <p>(2)平成27年度「スポーツクラブ21ひょうご」阪神南連絡協議会(第1回)及び組織統合会議について(報告)</p> <p>(3)「スポーツクラブ21ひょうご」芦屋市推進委員会について</p> <p>(4)平成27年度「スポーツクラブ21ひょうご」全県スポーツ大会及び阪神南地区交流フェスティバルについて</p> <p>(5)情報交換</p>
10月13日	<p>第2回</p> <p>(1)平成27年度「SC21ひょうご」芦屋市推進委員会について(報告)</p> <p>(2)平成27年度「SC21ひょうご」全県連絡協議会第2回理事会について(報告)</p> <p>(3)平成27年度「SC21ひょうご」全県スポーツ大会グラウンド・ゴルフ交流大会 in Amagasakiについて</p> <p>(4)近畿ブロッククラブネットワークアクション2015について</p> <p>(5)情報交換</p>
11月16日	<p>第3回</p> <p>(1)平成27年度「SC21ひょうご」阪神連絡協議会・組織統合会議について(報告)</p> <p>(2)近畿ブロッククラブネットワークアクション2015について(報告)</p> <p>(3)平成27年度「SC21ひょうご」全県スポーツ大会グラウンド・ゴルフ交流大会 in Amagasakiについて</p> <p>(4)全県スポーツサミット(12.5)について</p> <p>(5)全県連絡協議会特別会計について</p> <p>(6)情報交換</p>
3月24日	<p>第4回</p> <p>(1)平成27年度SC21全県連絡協議会第3回理事会について(報告)</p> <p>(2)平成27年度「SC21ひょうご」阪神地区連絡協議会(第4回)について(報告)</p> <p>(3)平成27年度阪神地区交流フェスティバル in Nishinomiyaについて(報告)</p> <p>(4)平成28年度の予定について</p> <p>(5)平成28年度芦屋市連絡協議会役員について</p> <p>(6)会計決算報告について</p> <p>(7)情報交換</p>

推進委員会及び実務者会議等	
4月23日	<p>第1回市町担当者連絡協議会</p> <p>(1)進捗状況及び平成27年度事業について</p> <p>(2)「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業について</p> <p>(3)補助金事務に関する留意点等について</p> <p>(4)ひょうご広域スポーツセンターについて</p> <p>(5)クラブマネジメント研修会について</p> <p>(6)事例研修</p> <p>①「地元大学と連携したスポーツクラブの活動について」福崎町</p> <p>②「障害者スポーツへの取組～はじめの一歩～」加西市</p> <p>(7)グループ協議：各市町における「スポーツクラブ21ひょうご」を核としたスポーツ推進について</p>
8月28日	芦屋市推進委員会

平成28年度

全県連絡協議会	
6月10日	第1回全県連絡協議会 (1)平成28年度・平成29年度役員について (2)平成27年度全県連絡協議会決算(案)及び監査報告 (3)平成28年度「スポーツクラブ21ひょうご」取組(案) (4)平成28年度「スポーツクラブ22ひょうご」収支予算(案) (5)全県スポーツサミットについて (6)総合型地域スポーツクラブ近畿ブロック連絡協議会 規約(案)について (7)ヒューマンエラー防止研修会について (8)会費の納入について (9)全県連絡協議会特別会計の活用について
6月25日	全県スポーツ大会 5×5(ゴ-ゴ-)ビンゴ大会(伊丹市)

阪神連絡協議会	
6月15日	第1回阪神連絡協議会 (1)平成28年度全県連絡協議会(6/10)の報告 (2)阪神地区連絡協議会について (3)全県スポーツ大会について

芦屋市連絡協議会	
4月7日	芦屋市連絡協議会三役会 (1)会長・副会長・会計の役割 (2)全県連絡協議会について (3)阪神地区連絡協議会について (4)芦屋市連絡協議会について (5)推進委員会について (6)今年度の予定(指針)について ※平成27年度の基金に係る書類を県教委へ提出 } 4月～5月中旬にかけて各スポーツクラブ
6月16日	第1回 (1)平成28年度SC21阪神地区連絡協議会(第1回)について(報告) (2)全県スポーツ大会「5×5ビンゴ大会」について (3)運営費等補助事業実施状況について(県体協より説明) (4)平成28年度クラブマネジメント研修会について(県体協より説明) (5)情報交換

推進委員会及び実務者会議等	
4月27日	第1回市町担当者連絡協議会 (1)平成28年度「スポーツクラブ21ひょうご」事業説明 他 (2)研修会 「ユニバーサルスポーツの推進」 (3)グループ協議 「各市町における『スポーツクラブ21ひょうご』の役割」 (4)ひょうご広域スポーツセンターについて (5)クラブマネジメント研修会について (6)事例研修 ①「地元大学と連携したスポーツクラブの活動について」福崎町 ②「障害者スポーツへの取組～はじめての一步～」加西市 (7)グループ協議:各市町における「スポーツクラブ21ひょうご」を核としたスポーツ推進について
8月31日	芦屋市推進委員会